

札幌市営斎場・霊園利用者アンケート調査 報告書

平成30年12月

札幌市

目 次

第1章 調査の目的	1-1
第2章 札幌市営斎場利用者向けアンケート調査	
1. 調査の概要.....	2-1
2. 調査結果	
(1) 回答者の属性.....	2-2
(2) 斎場の利用状況.....	2-3
(3) 待ち時間について.....	2-6
(4) 特別控室の利用.....	2-8
(5) 斎場の評価.....	2-11
(6) 火葬後の遺骨の埋葬方法等.....	2-15
(7) 斎場の費用負担.....	2-16
(8) 斎場の休場日.....	2-17
第3章 札幌市営霊園利用者向けアンケート調査	
1. 調査の概要.....	3-1
2. 調査結果	
(1) 回答者の属性.....	3-2
(2) 市営霊園の利用状況.....	3-3
(3) 市営霊園の評価.....	3-7
(4) 墓地に関する手続きの認知度.....	3-12
(5) 市営霊園の費用・サービス.....	3-13
(6) 墓の形態について.....	3-14
第4章 終活に関するアンケート調査結果、自由記述意見	
1. 調査の概要.....	4-1
2. 調査結果	
(1) 終活について.....	4-1
(2) 斎場・墓地のあり方についての自由記述意見.....	4-3
資料編	
資料1. 札幌市営斎場利用者向けアンケート調査 調査票.....	資料-1
資料2. 札幌市営墓地利用者向けアンケート調査 調査票.....	資料-9

第1章 調査の目的

少子高齢化の進展に伴い、墓地や納骨堂の継承者が不在となる無縁化の増加や、合葬墓や樹木葬等、従来型の墓地とは異なる新たな形態の墓地を求めるニーズの多様化等、墓地や納骨堂を取り巻く状況が変化してきている。

また、今後いわゆる団塊の世代が寿命を迎え、死亡者数が増加する多死社会が到来し、火葬件数の増加や墓地需要の変化等が予想される。

このような中、将来にわたって安定的な斎場や墓地の運営体制を確保するため、斎場や墓地の目指すべき姿と、その実現に向けた取組を検討し、基本構想として取りまとめる予定である。

本調査は、この基本構想の検討に必要な札幌市の斎場と霊園の利用者のニーズを把握するために行ったものである。

第2章 札幌市営斎場利用者向けアンケート調査

1. 調査の概要

- ・ **目的** : 札幌市営の斎場を利用した市民の斎場に関するニーズや評価を把握するために実施した。
- ・ **対象者** : 平成29年に札幌市営の斎場（里塚斎場、山口斎場）を利用した方のうち死亡者の年齢が60歳以上かつ死亡者と火葬申請者の続柄が親族である札幌市民500名。
- ・ **調査期間** : 平成30年11月2日（金）発送～平成30年11月16日（金）投函締切
- ・ **調査方法** : 郵送配布・郵送回収式調査
- ・ **回収数、率** : 回収数224票、回収率44.8%

■以降の凡例・注記

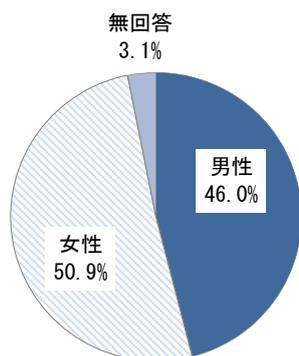
- ◎各図表で示す回答者数は、非該当者（その設問に答える必要のない方）、「無回答除く」の記載があるものについては無回答者を除いた数であるため、回収数以下になる。
- ◎単一回答の設問では、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ◎複数選択可の設問では、表記の割合の合計は100%を超える。
- ◎「その他」枠内の（数字）は同様の回答の数を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者の属性 (問 18)

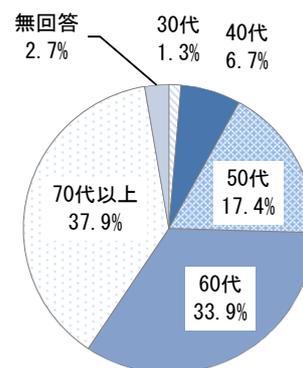
回答者の年齢構成は 60 代以上で 71.8%以上、世帯構成は「一人暮らし」(28.1%)と「自身と配偶者」(29.9%)で半数以上(計 58.0%)、世帯年収も 300 万円台以下で 61.1%という結果となった。

1) 性別



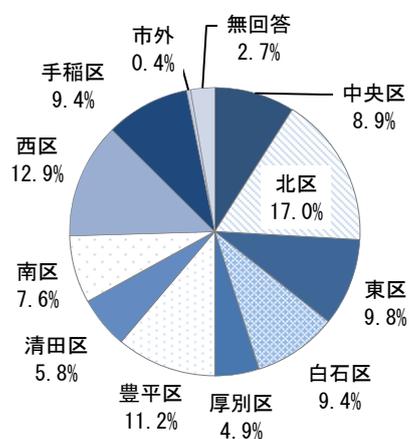
(1 つだけ選択、回答者数=224)

2) 年齢



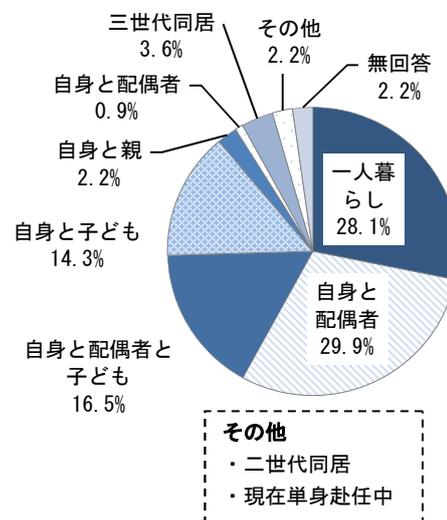
(1 つだけ選択、回答者数=224)

3) 居住区



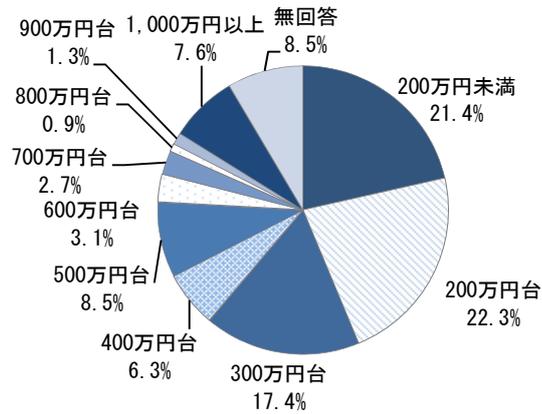
(1 つだけ選択、回答者数=224)

4) 世帯構成



(1 つだけ選択、回答者数=224)

5) 世帯年収



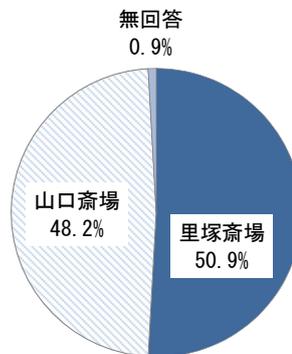
(1つだけ選択、回答者数=224)

(2) 斎場の利用状況

1) 直近に利用した札幌市内の斎場 (問1)

「山口斎場」利用者が若干少ない結果となった。

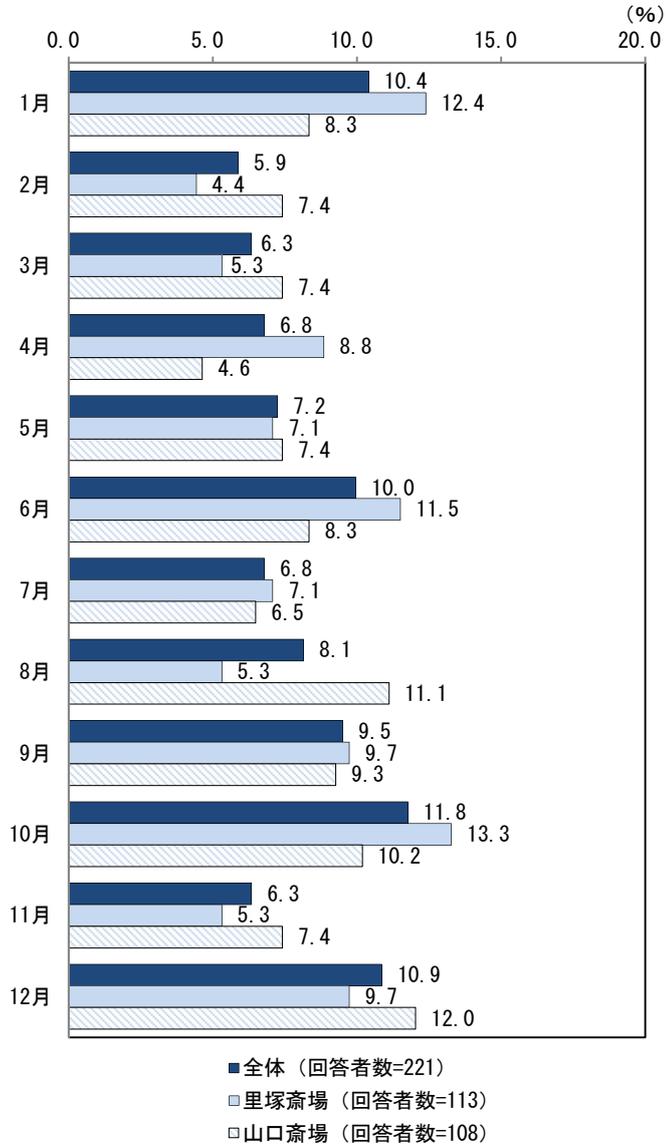
以降の斎場に関する設問では、この設問への回答から、里塚斎場、山口斎場、それぞれの利用者に分け、利用斎場別に集計している。



(1つだけ選択、回答者数=224)

2) 斎場を利用した時期 (問2)

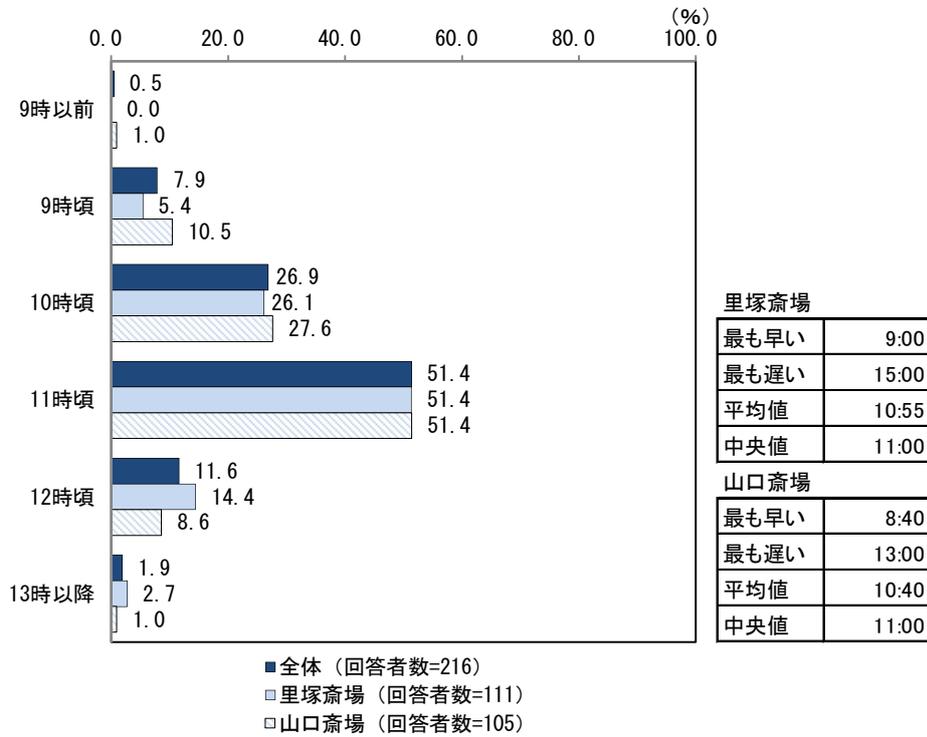
里塚斎場については「10月」(13.3%)に利用した回答者が最も多く、以下「1月」(12.4%)、「6月」(11.5%)の順となっている。山口斎場は「12月」(12.0%)、「8月」(11.1%)、「10月」(10.2%)の順となっている。



(1つだけ選択、無回答除く)

3) 齋場に到着した時刻 (問3)

両齋場とも「11時頃」が最も多く半数を超えた(51.4%)。次に多かったのは「10時頃」(里塚齋場 26.1%、山口齋場 27.6%)であった。



里塚齋場	
最も早い	9:00
最も遅い	15:00
平均値	10:55
中央値	11:00

山口齋場	
最も早い	8:40
最も遅い	13:00
平均値	10:40
中央値	11:00

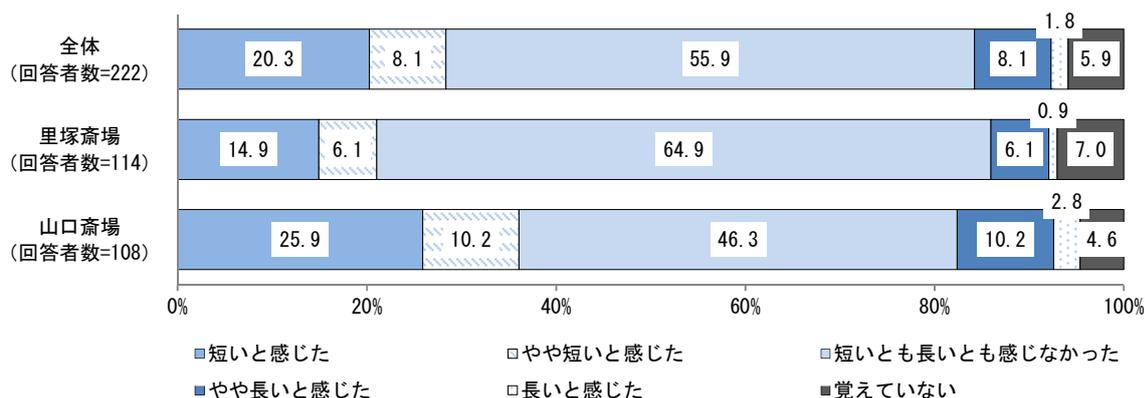
(1つだけ選択、無回答除く)

(3) 待ち時間について

1) 斎場到着から受付までの待ち時間をどのように感じたか (問4)

両斎場とも「短いとも長いとも感じなかった」が最も多かった(里塚斎場 64.9%、山口斎場 46.3%)。

「短いと感じた」「やや短いと感じた」の合計を見ると、里塚斎場では 21.0%であったが、山口斎場では 36.1%となっている。

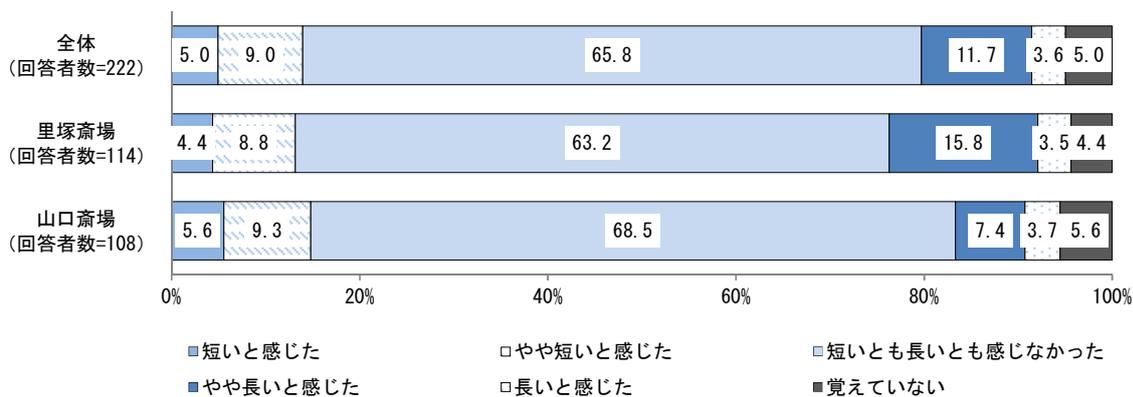


(1つだけ選択、無回答除く)

2) 炉前のお別れから収骨までの待ち時間をどのように感じたか (問5)

両斎場とも「短いとも長いとも感じなかった」が最も多く 60%以上であった。

「短いと感じた」「やや短いと感じた」と「やや長いと感じた」「長いと感じた」、それぞれの合計を比較すると、里塚斎場は「長いと感じた」(計 19.3%)が「短いと感じた」(計 13.2%)を上回っている。山口斎場では「短いと感じた」(計 14.9%)が「長いと感じた」(計 11.1%)を上回った。

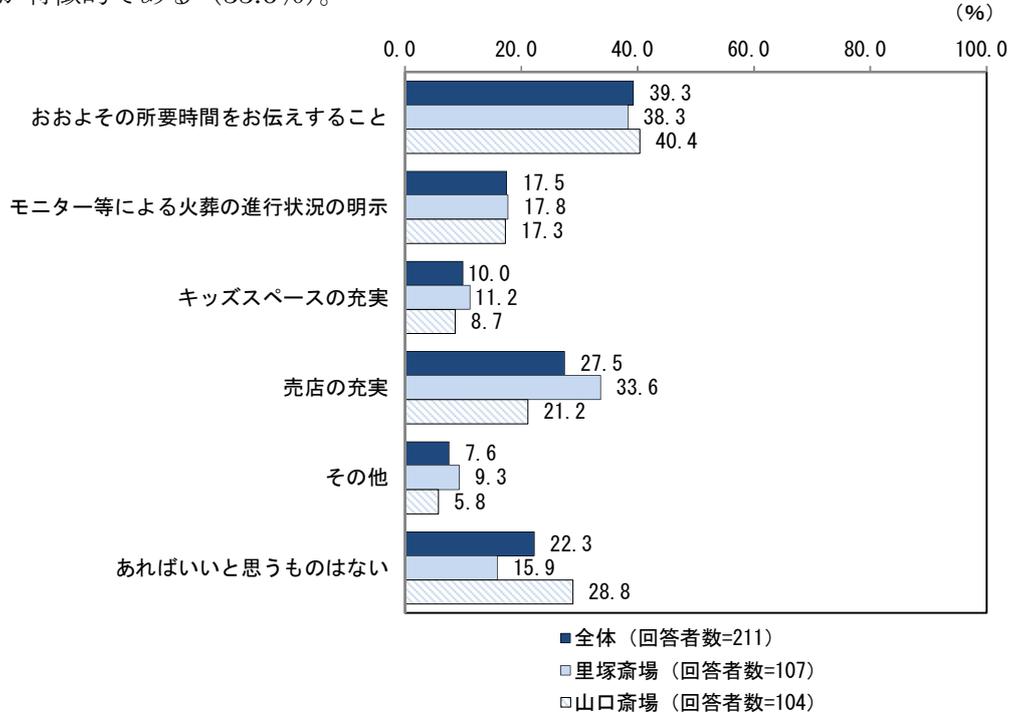


(1つだけ選択、無回答除く)

3) 待ち時間を過ごすためにあればいいと思うもの（問6）

両斎場とも「おおよその所要時間をお伝えすること」が最も多く、約 40%の回答者が選択した（里塚斎場 38.3%、山口斎場 40.4%）。

2位以下を見ると、里塚斎場については「売店の充実」が比較的多く挙げられているのが特徴的である（33.6%）。



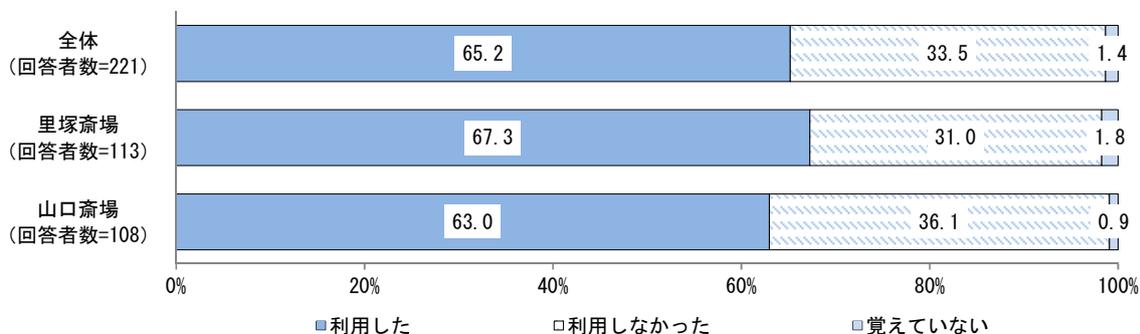
- その他**
- <里塚斎場>**
- ・ レストラン・食堂 (2)
 - ・ ソファ席があるが数が足りない
 - ・ 休憩スペースはもう少し広い方が良い。
 - ・ 喫煙場所
 - ・ フロアー1階のソファ椅子を充実させて欲しい
 - ・ ゆっくり休めるところ
 - ・ フリードリンク
 - ・ お風呂があれば など
- <山口斎場>**
- ・ 食堂、カフェ・喫茶コーナー (2)
 - ・ 昼食用のテーブルが足りない。メニューが少ない
 - ・ 子供専用のトイレコーナー
 - ・ テレビが2つあれば良い

(複数選択可、無回答除く)

(4) 特別控室の利用

1) 特別控室の利用有無 (問7 (1))

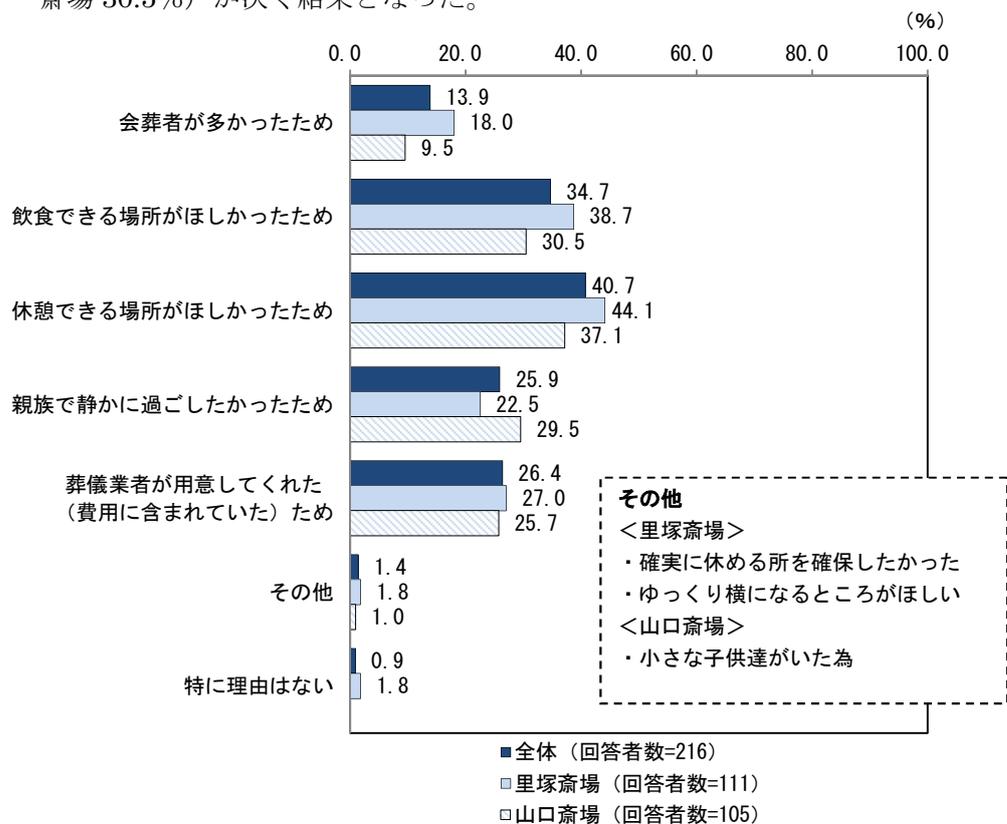
里塚斎場では回答者の67.3%、山口斎場では63.0%が特別控室を利用していた。



(1つだけ選択、無回答除く)

2) 特別控室を利用した理由 (特別控室を利用した方限定、問7 (2))

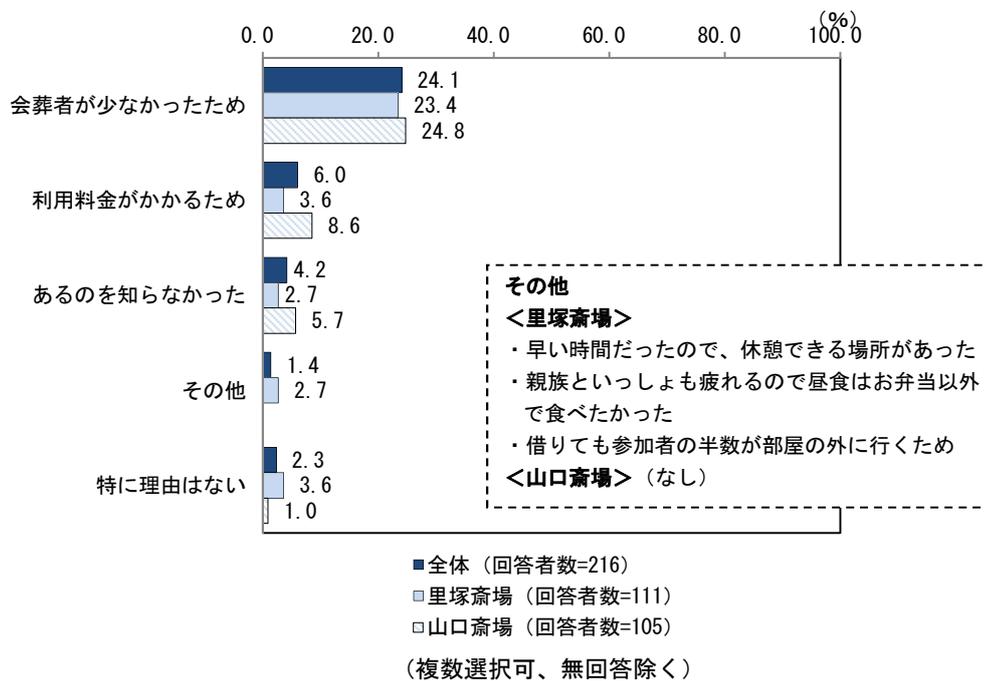
いずれの斎場でも「休憩する場所がほしかったため」が最も多く挙げられ (里塚斎場 44.1%、山口斎場 37.1%)、「飲食できる場所がほしかったため」(里塚斎場 38.7%、山口斎場 30.5%) が次ぐ結果となった。



(複数選択可、無回答除く)

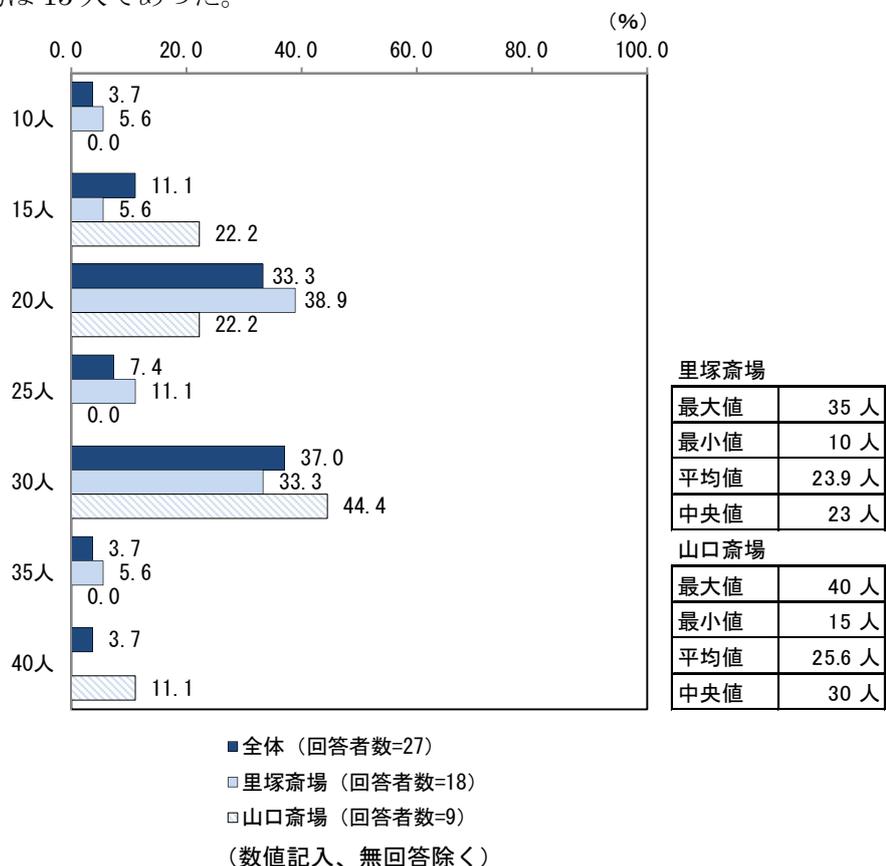
3) 特別控室を利用しなかった理由（特別控室を利用しなかった方限定、問7（2））

いずれの斎場でも「会葬者が少なかったため」が最も多く挙げられた（里塚斎場 23.4%、山口斎場 24.8%）。



4) 特別控室利用・「会葬者が多かったため」と回答した際の会葬者の人数（問7（2））

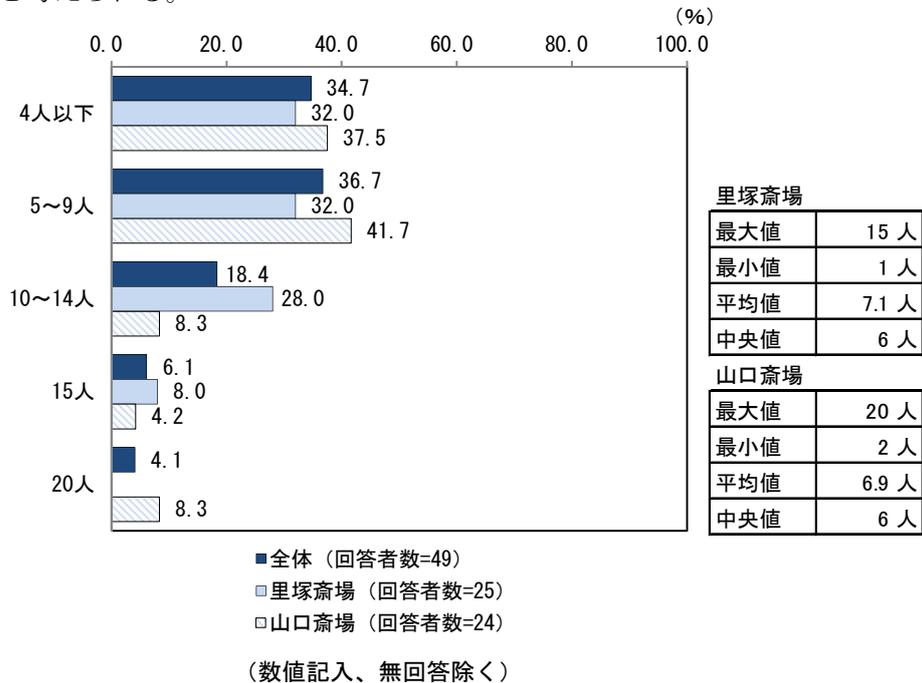
平均値を見ると、里塚斎場は 23.9 人、山口斎場は 25.6 人であった。最小値は里塚斎場は 10 人、山口斎場は 15 人であった。



5) 特別控室利用せず・「会葬者が少なかったため」と回答した際の会葬者の人数（問7（2））

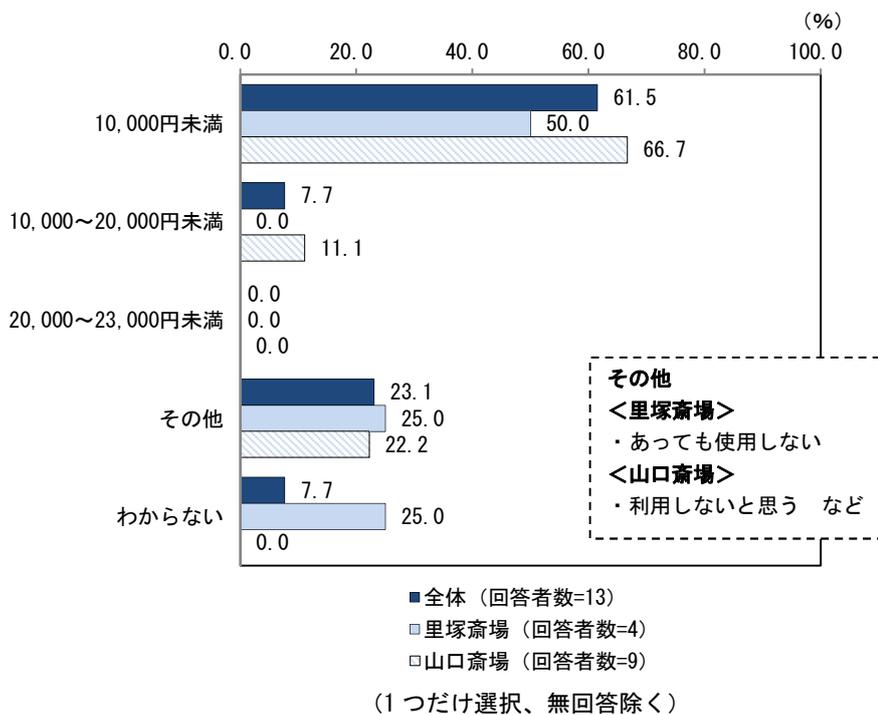
ここでは最大値を見るが、里塚斎場は15人、山口斎場は20人であった。

4)の結果と合わせて考えると、概ね15～20人が、特別控室を利用するかしないかの境界であると考えられる。



6) 利用料金がいくらであれば使いたいか（利用料金がかかるため特別控室を利用しなかった方限定、問7（3））

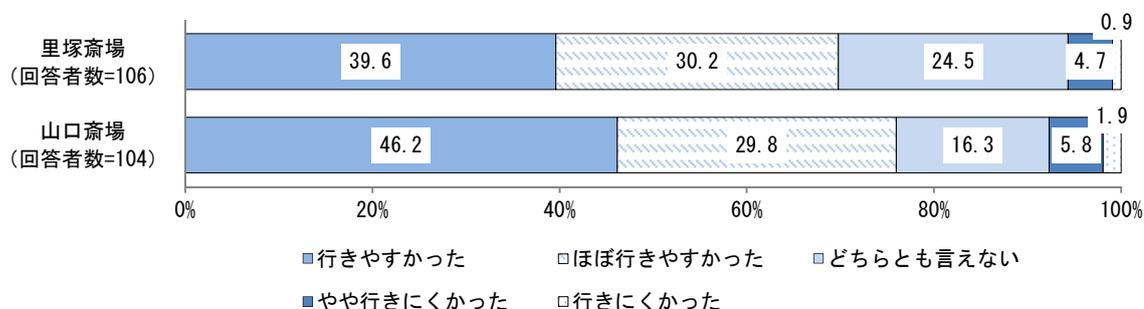
いずれの斎場についても半数以上の方が「10,000円未満」と答えている（里塚斎場50.0%、山口斎場66.7%）。



(5) 齋場の評価

1) 齋場への行きやすさ (問8 (1))

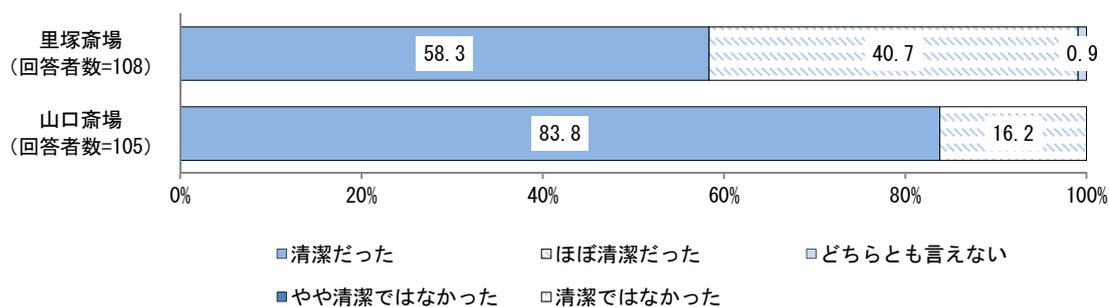
「行きやすかった」「ほぼ行きやすかった」の合計が、里塚齋場では 69.8%、山口齋場では 76.0%となっている。



(1つだけ選択、無回答除く)

2) 施設等の清潔さ (問8 (2))

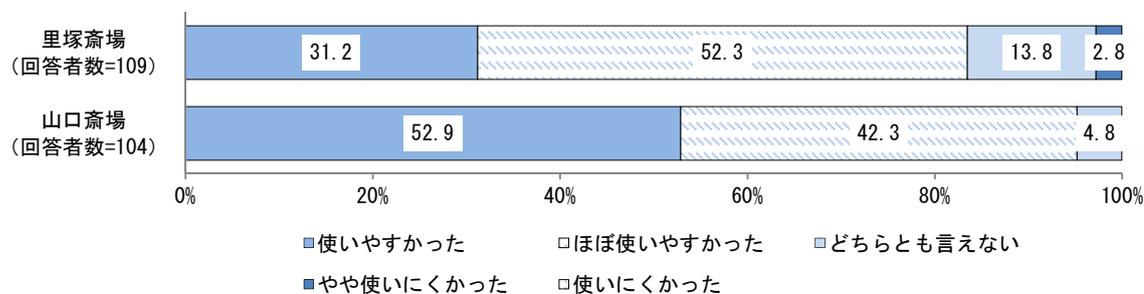
いずれの齋場についても、ほとんど 100%の回答者が「清潔だった」「ほぼ清潔だった」と回答した (里塚齋場 99.0%、山口齋場 100.0%)。



(1つだけ選択、無回答除く)

3) 施設の使いやすさ (問8 (3))

里塚齋場については「使いやすかった」「ほぼ使いやすかった」の合計が 83.5%であった。山口齋場では 95.2%が「使いやすかった」「ほぼ使いやすかった」と答えた。

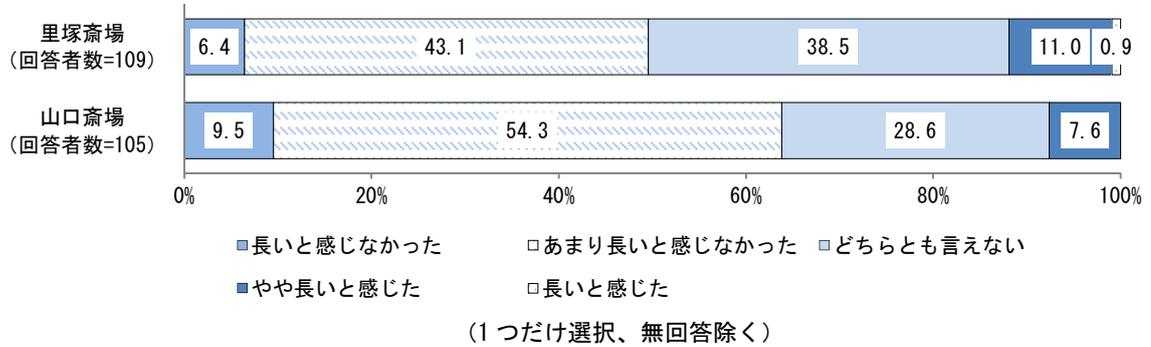


(1つだけ選択、無回答除く)

4) 全体の所要時間（問8（4））

里塚斎場については「長いと感じなかった」「あまり長いと感じなかった」の合計が49.5%、山口斎場では63.8%となっている。

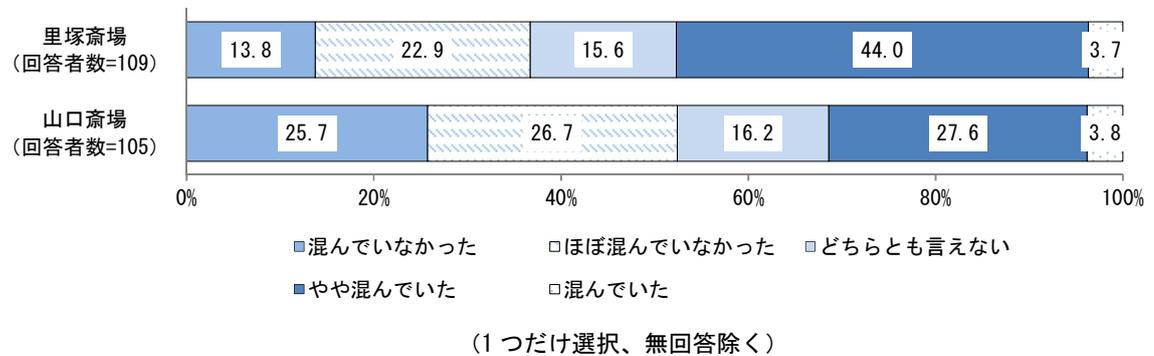
「やや長いと感じた」「長いと感じた」の合計は里塚斎場で11.9%、山口斎場で7.6%であった。



5) 施設内の混雑度（問8（5））

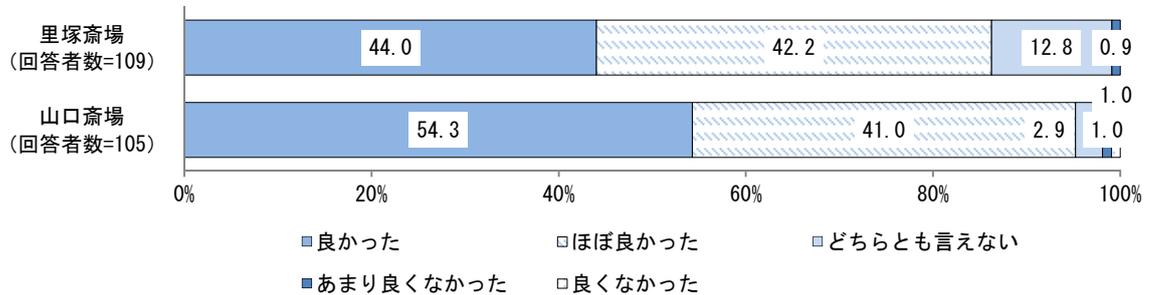
里塚斎場については約半数が「やや混んでいた」「混んでいた」と回答し（計47.7%）、「混んでいなかった」「ほぼ混んでいなかった」（計36.7%）を11.0ポイント上回る結果となった。

山口斎場については「混んでいなかった」「ほぼ混んでいなかった」が半数を超え（計52.4%）、「やや混んでいた」「混んでいた」（計31.4%）を21.0ポイント上回っている。



6) 職員の対応 (問8 (6))

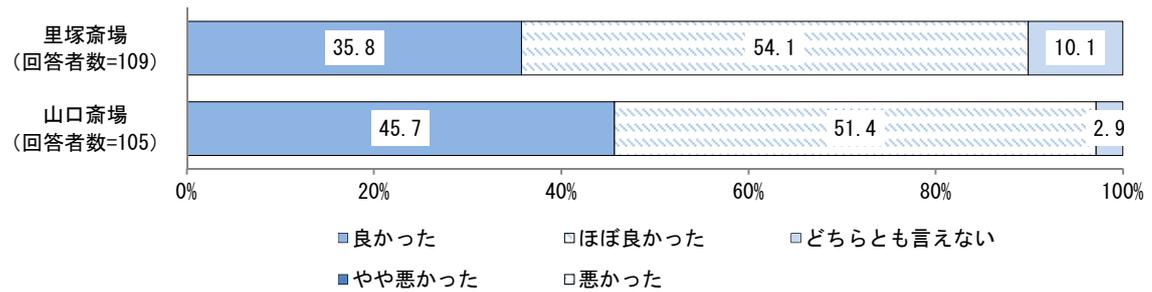
里塚斎場では「良かった」「ほぼ良かった」の合計が86.2%、山口斎場では95.3%となる結果となった。



(1つだけ選択、無回答除く)

7) 総合的な満足度 (問8 (7))

里塚斎場では「良かった」「ほぼ良かった」の合計が89.9%、山口斎場では97.1%となる結果となった。



(1つだけ選択、無回答除く)

8) 特に良い点・悪い点 (問8 (8))

<里塚斎場>

施設の清潔さ

- ・施設が清潔だった・明るかった (4)

施設の使いやすさ

- ・広すぎて移動に時間がかかった (2)
- ・休憩室が静かで良かった (2)
- ・足の悪い方の移動が大変である
- ・ロビーが広くゆっくりできた
- ・施設内の造りが複雑で迷った
- ・控室にコーヒーマシーンがあると良かった

所要時間・進行

- ・進行がスムーズだった (3)

職員の対応

- ・職員が親切・丁寧・対応が良かった (10)
- ・職員の対応が事務的だった (2)
- ・骨拾いが雑だった など

その他

- ・納得するまで収骨できた
- ・悪いイメージがなかったのでは良かったと回答 など

<山口斎場>**施設の清潔さ**

- ・施設が清潔・機能的だった (5)
- ・落ち付いた色彩 など

施設の使いやすさ

- ・子供部屋がほしかった
- ・ロビーの長椅子が足りなかった

所要時間・進行

- ・混雑を予想して早い出棺だったのでスムーズだった
- ・所要時間がさらに短縮できれば好ましい

混雑

- ・年末・年始の休日に当たりとても混み合っていた

職員の対応

- ・職員が親切・丁寧・対応が良かった (5)
- ・職員の服装がシンプルで感じがよかった
- ・職員の対応が事務的だった
- ・入場時、職員に急かされた

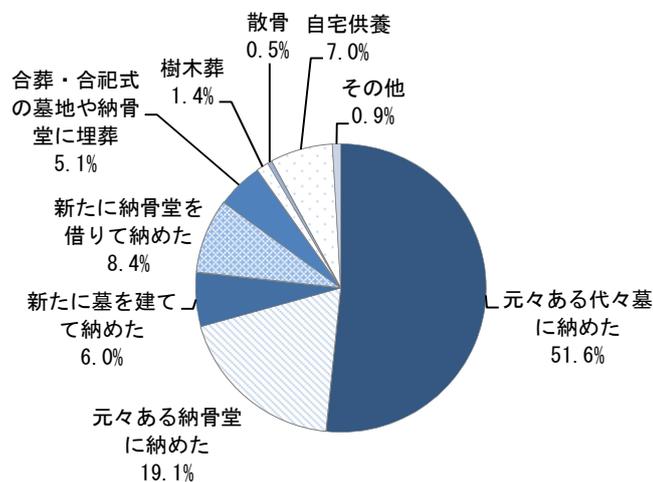
その他

- ・火葬前の遺体との最後の対面がなかったのが残念だった
- ・特に悪い点は感じられなかった

(6) 火葬後の遺骨の埋葬方法等

1) 埋葬等の方法 (問9 (1))

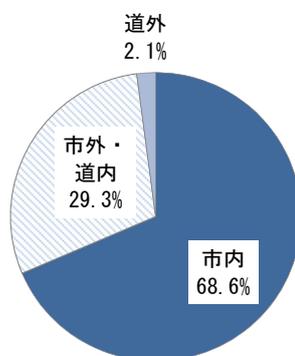
「元々ある代々墓に納めた」が半数を超え(51.6%)、「元々ある納骨堂に納めた」(19.1%)が次ぐ結果となった。70%の方が元々ある代々墓、もしくは、納骨堂に遺骨を埋葬している。



(1つだけ選択、回答者数=215、無回答除く)

2) 埋葬場所 (墓・納骨堂・樹木葬にした方限定、問9 (2))

68.6%の方が「市内」に埋葬したと回答した。



(1つだけ選択、回答者数=191、無回答除く)

3) 墓地・納骨堂の名称 (墓・納骨堂・樹木葬にした方限定、問9 (3))

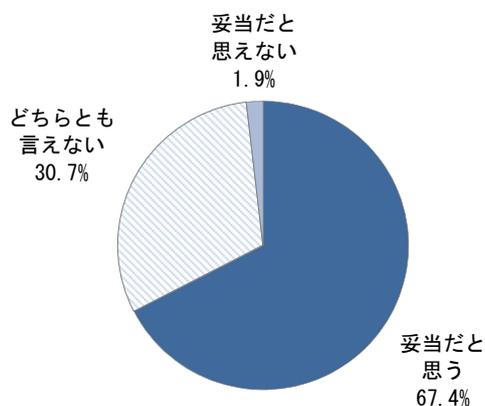
115人の方が回答した。下記表では3人以上が挙げた墓地・納骨堂を挙げる。

名称	件数
里塚霊園	12
滝野霊園	12
ばらと霊園	10
戸田記念墓地公園	8
真駒内滝野霊園	7
藤野聖山園	5
札幌霊堂	4
平岸霊園	3

(7) 斎場の費用負担

1) 「市民の利用料無料」についてどう思うか (問 10 (1))

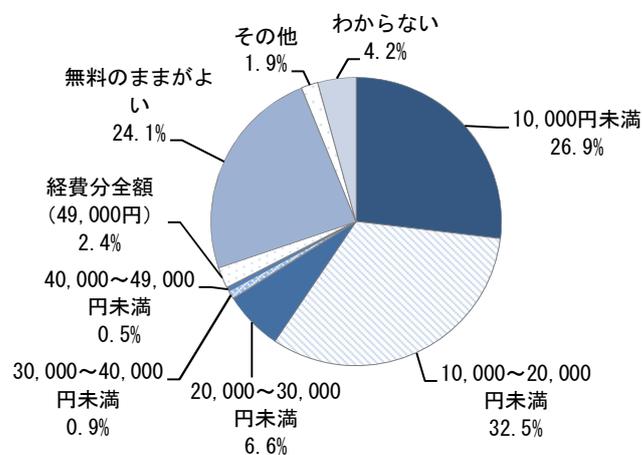
67.4%の方が「妥当だと思う」と回答した。「妥当だと思えない」はわずかにとどまっている (1.9%)。



(1つだけ選択、回答者数=215、無回答除く)

2) 火葬費用をどのくらいまでなら負担してもよいと思うか (問 10 (2))

「10,000～20,000 円未満」が最も多く、32.5%の方が挙げた。以下「10,000 円未満」(26.9%)、「無料のままがよい」(24.1%)が続く。



その他

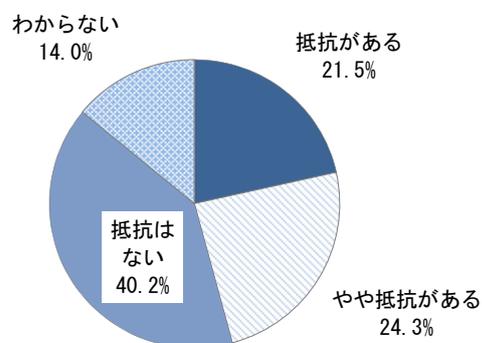
- ・金銭に困っている方は千円位、他は一万円
- ・1万円未満。所得の低い人は無料
- ・所得による徴収があっても良い など

(1つだけ選択、回答者数=212、無回答除く)

(8) 斎場の休場日

1) 友引の日の火葬についてどう考えるか (問 11)

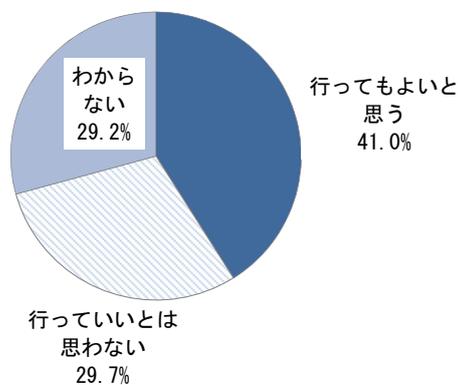
「抵抗がある」「やや抵抗がある」の合計は 45.8%であり、「抵抗はない」(40.2%)をわずかに上回った。



(1つだけ選択、回答者数=214、無回答除く)

2) 友引の日に火葬を行ってもよいと思うか (問 12)

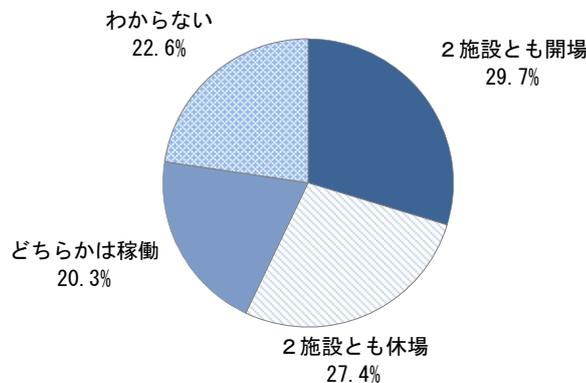
「行ってもよいと思う」(41.0%)が「行っていいとは思わない」(29.7%)を10ポイント以上上回った。



(1つだけ選択、回答者数=212、無回答除く)

3) 斎場を友引の日にも開場した方がよいと思うか (問 13)

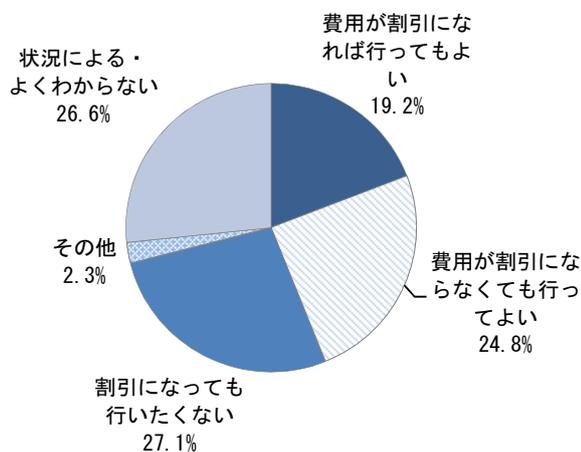
「2施設とも友引の日にも開場し、休場日なしでいつでも火葬できるようにする」(29.7%)が最も多い結果となった。これと「友引の日には『2施設同時には』休場せず、必ずどちらかは稼働しているようにする」(20.3%)を合わせると50.0%となり、「これまでと同じく2施設とも友引の日にも休場する」(27.4%)を20ポイント以上上回っている。



(1つだけ選択、回答者数=212、無回答除く)

4) 使用料が割引になる場合、友引に火葬を行うことをどう考えるか (問 14)

「割引になっても友引の日に火葬は行いたくない」(27.1%)が最も多く挙げられたが、この選択肢と「火葬費用などが割引になるのであれば友引の日に火葬を行ってもよい」(19.2%)と「火葬費用などが割引にならなくても友引の日に火葬を行ってもよい」(24.8%)の合計を比較すると、「友引の日に火葬を行ってもよい」が16.9ポイント上回る結果となっている。



その他

- ・友引の日は何故火葬がだめなのか分からない
- ・友引の割引は良くない。収入や宗教差別につながる
- ・火葬料金無料として開場（市民の場合）
- ・火葬炉のメンテナンス等の日にあてているならばこのままで良いと思う など

(1つだけ選択、回答者数=214、無回答除く)

第3章 札幌市営墓地利用者向けアンケート調査

1. 調査の概要

- ・ **目的** : 札幌市営の墓地を利用した市民の墓地に関するニーズや評価を把握するために実施した。
- ・ **対象者** : 札幌市営の墓地（平岸霊園、里塚霊園、手稲平和霊園）を使用する市民（使用者名簿に市内住所の記載があった者）500名
- ・ **調査期間** : 平成30年11月2日（金）発送～平成30年11月16日（金）投函締切
- ・ **調査方法** : 郵送配布・郵送回収式調査
- ・ **回収数、率** : 回収数281票、回収率56.2%

■以降の凡例・注記

- ◎各図表で示す回答者数は、非該当者（その設問に答える必要のない方）、「無回答除く」の記載があるものについては無回答者を除いた数であるため、回収数以下になる。
- ◎単一回答の設問では、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ◎複数選択可の設問では、表記の割合の合計は100%を超える。
- ◎「その他」枠内の（数字）は同様の回答の数を示す。

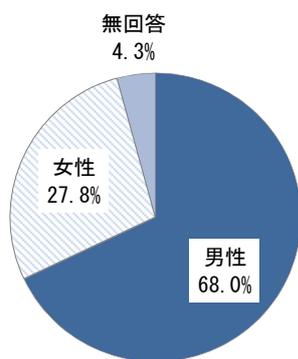
2. 調査結果

(1) 回答者の属性 (問 16)

回答者の年齢構成は 70 代以上が 47.7%で最も多く、60 代以上では 83.6%であった。世帯構成は「自身と配偶者」が最も多く (38.8%)、「自身と配偶者と子ども」(22.1%)が次いだ。

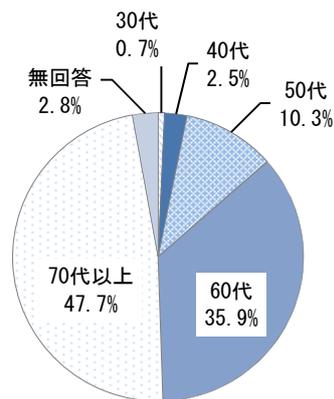
世帯年収は 300 万円台以下で計 61.1%であった。

1) 性別



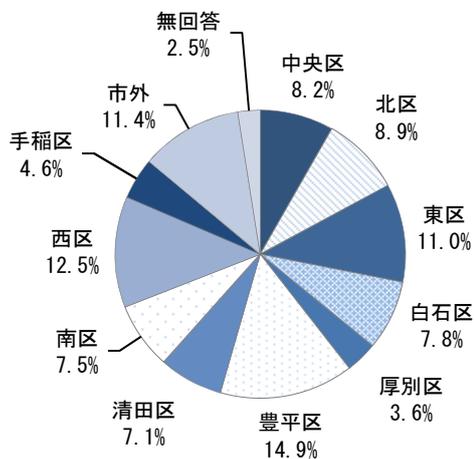
(1 つだけ選択、回答者数=281)

2) 年齢



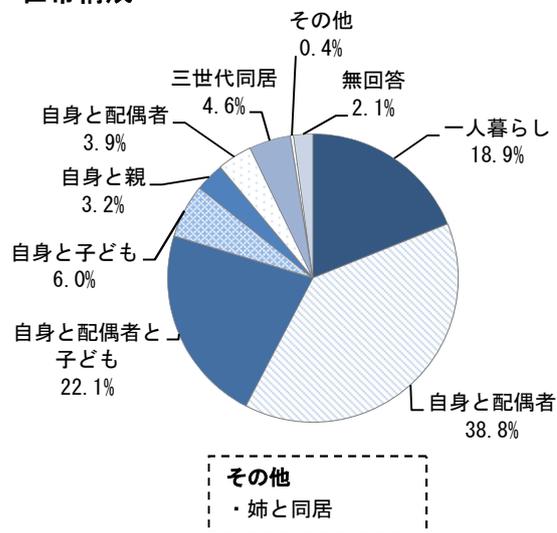
(1 つだけ選択、回答者数=281)

3) 居住区



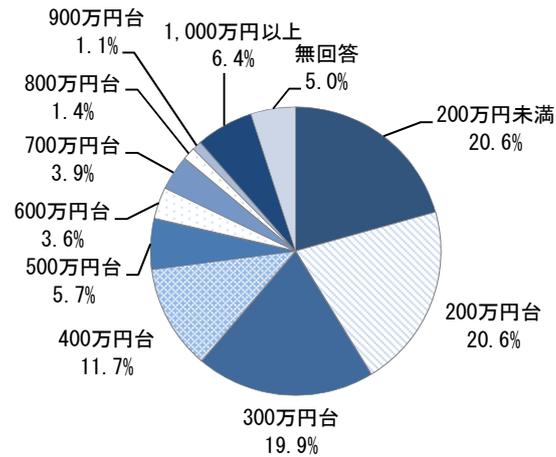
(1 つだけ選択、回答者数=281)

4) 世帯構成



(1 つだけ選択、回答者数=281)

5) 世帯年収



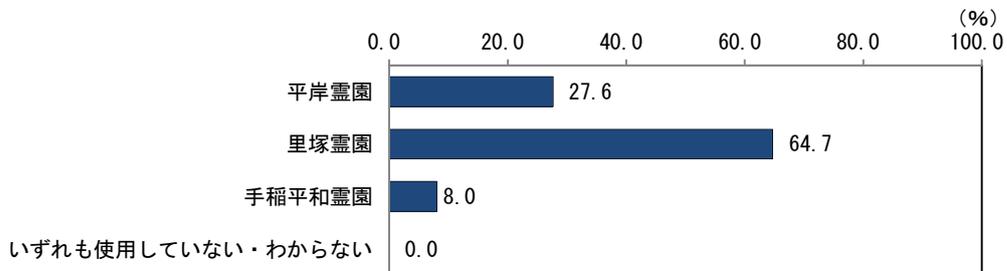
(1つだけ選択、回答者数=281)

(2) 市営霊園の利用状況

1) 代々墓・家墓等がある墓地 (問1)

下図のような結果となった。

以降の市営霊園に関する設問では、この設問への回答から、平岸霊園、里塚霊園、手稲平和霊園、それぞれの利用者に分け、利用霊園別に集計・分析を行っている。

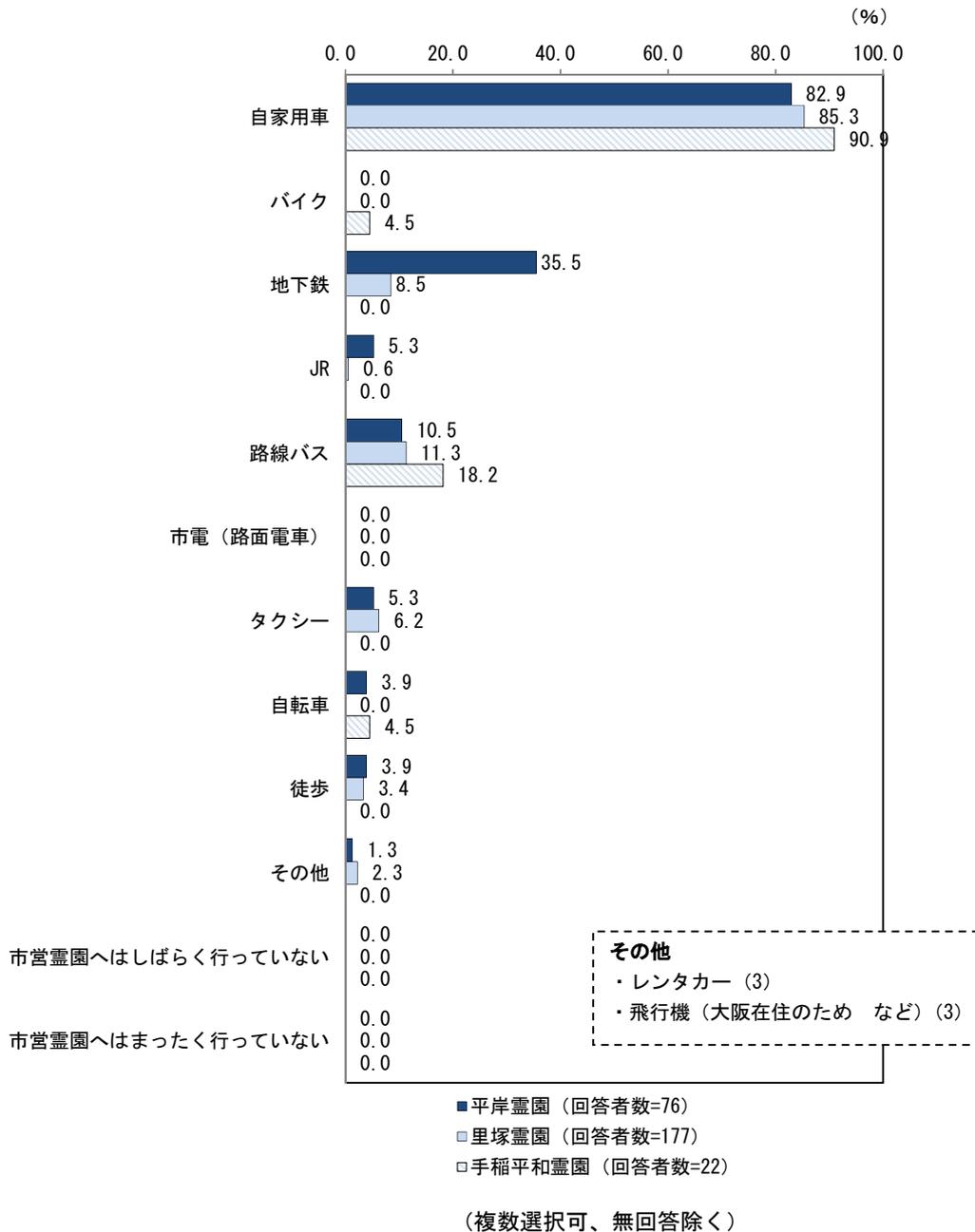


(複数選択可、回答者数=275、無回答除く)

2) 市営霊園への主な交通手段（問2）

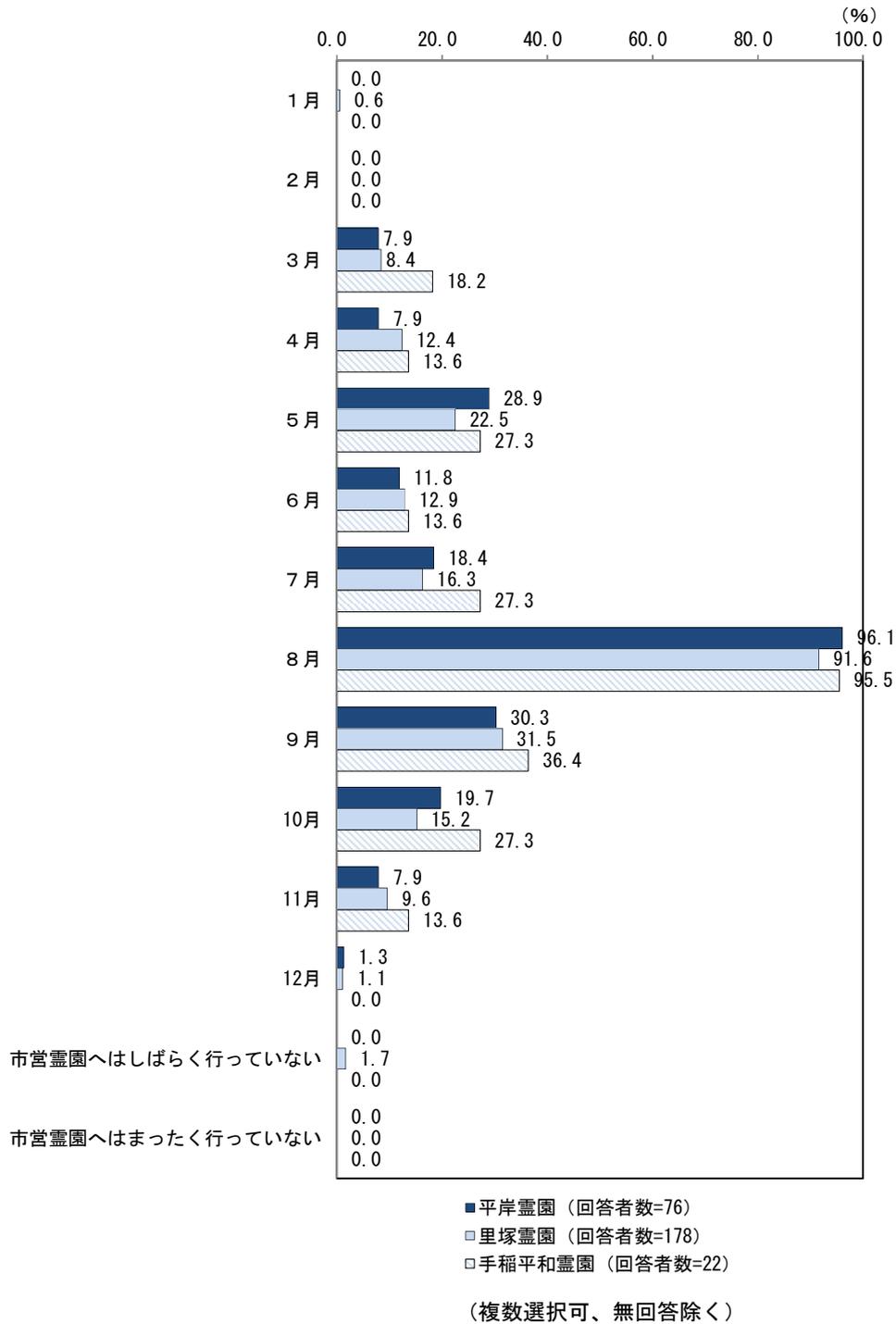
いずれの霊園についても「自家用車」が80%を超える結果となった（平岸霊園 82.9%、里塚霊園 85.3%、手稲平和霊園 90.9%）

平岸霊園について「地下鉄」利用者が比較的多い（35.5%）のが特徴的である。



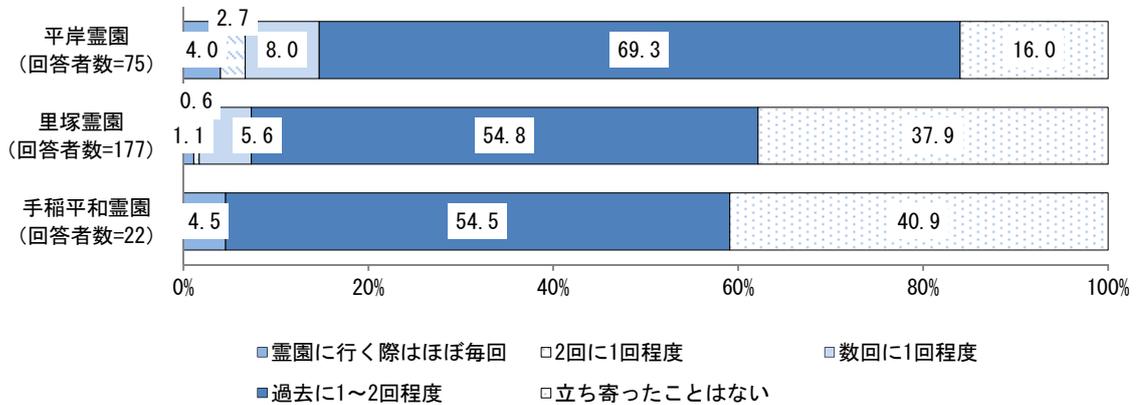
2) 霊園に行く月 (問3)

いずれの霊園についてもお盆がある「8月」が突出して多くなっている(平岸霊園 96.1%、里塚霊園 91.6%、手稲平和霊園 95.5%)。



3) 市営霊園の管理事務所に立ち寄った頻度 (問4 (1))

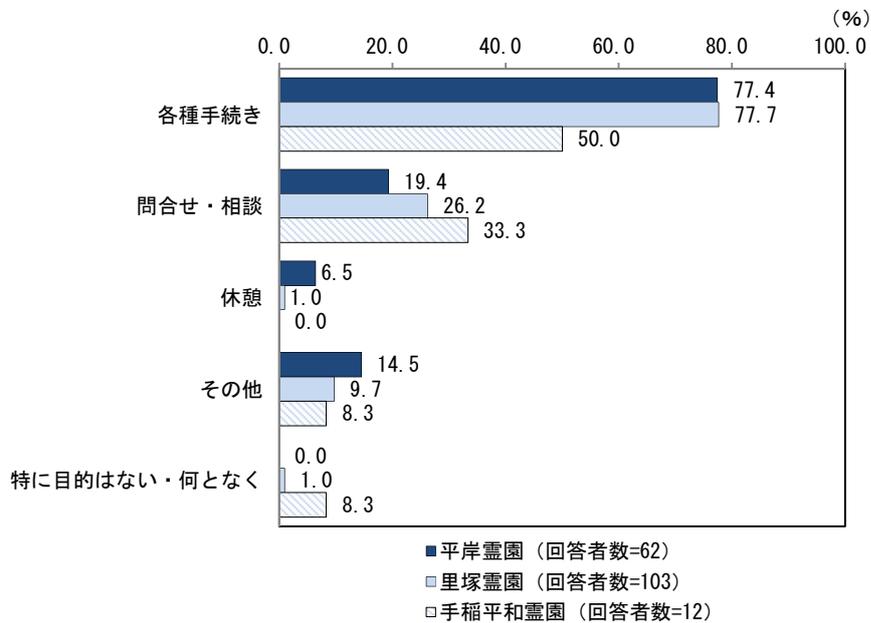
いずれの市営霊園についても「過去に1~2回程度」が最も多く半数を超えている(平岸霊園 69.3%、里塚霊園 54.8%、手稲平和霊園 54.5%)。また、いずれの霊園についても「立ち寄ったことはない」が次いで多くなっている(平岸霊園 16.0%、里塚霊園 37.9%、手稲平和霊園 40.9%)。



(1つだけ選択、無回答除く)

4) 市営霊園の管理事務所に立ち寄った目的 (問4 (2))

いずれの霊園についても「各種手続き」が最も多く挙げられた(平岸霊園 77.4%、里塚霊園 77.7%、手稲平和霊園 50.0%)。

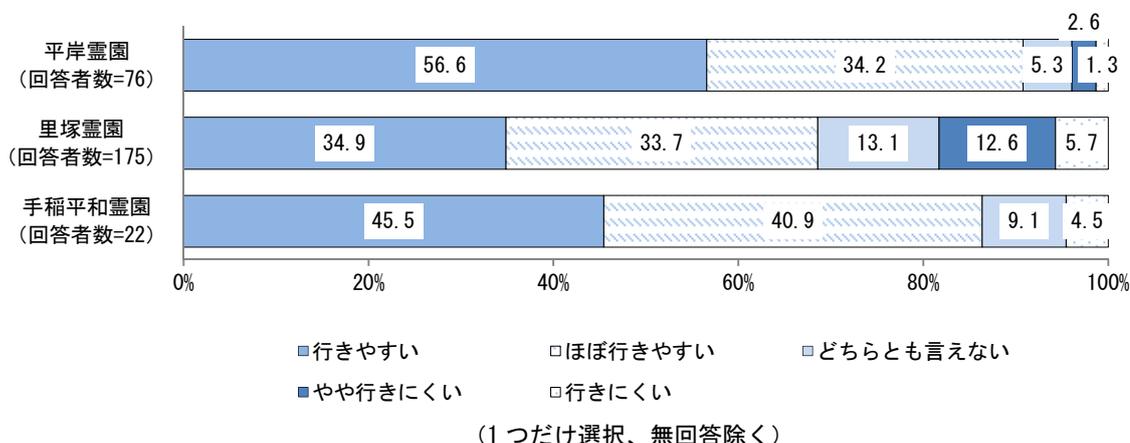


(複数選択可、無回答除く)

(3) 市営霊園の評価 (問5)

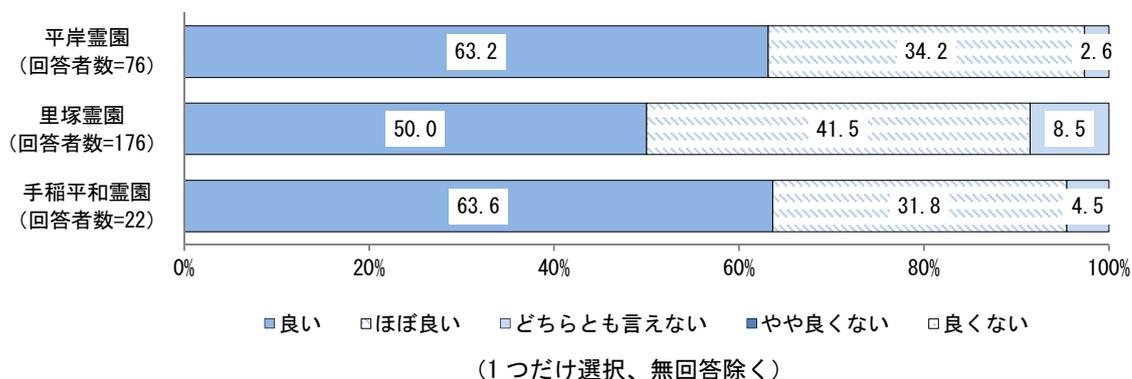
1) 霊園への行きやすさ

「行きやすい」「ほぼ行きやすい」の合計が約70%~90%であった(平岸霊園90.8%、里塚霊園68.6%、手稲平和霊園86.4%)



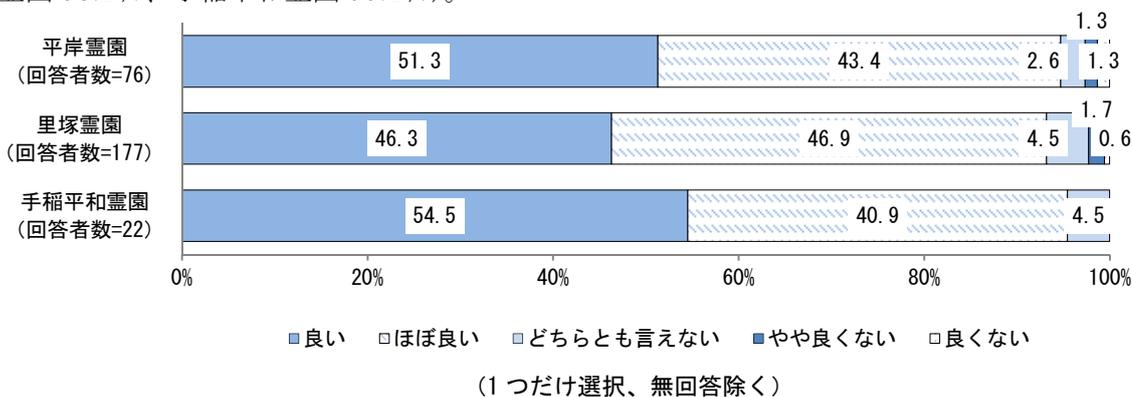
2) 霊園の環境

「良い」「ほぼ良い」の合計が、いずれの霊園でも90%を超えている(平岸霊園97.4%、里塚霊園91.5%、手稲平和霊園95.4%)。



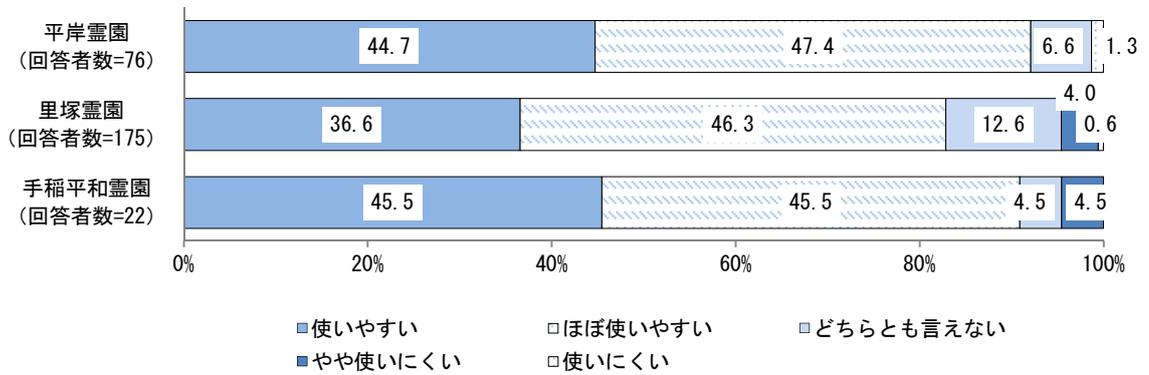
3) 霊園の清掃状況

いずれの霊園でも「良い」「ほぼ良い」の合計が90%を超えた(平岸霊園94.7%、里塚霊園93.2%、手稲平和霊園95.4%)。



4) 霊園の使いやすさ

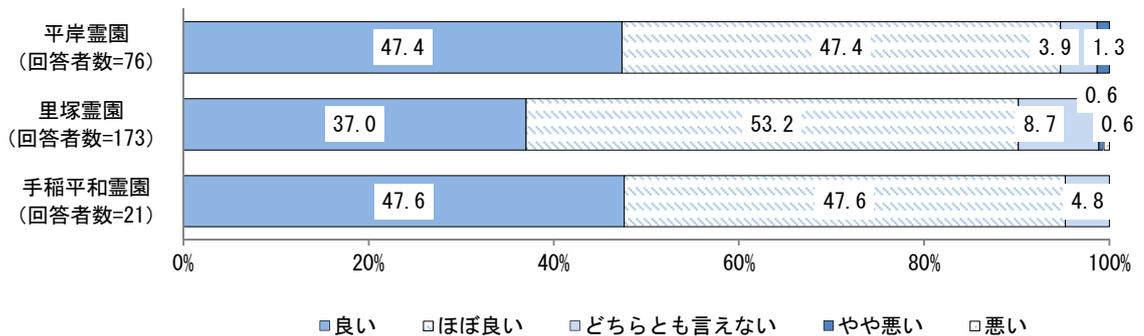
「使いやすい」「ほぼ使いやすい」の合計が、平岸霊園では 92.1%、里塚霊園 82.9%、手稲平和霊園 91.0%という結果となった。



(1つだけ選択、無回答除く)

5) 総合的な満足度

いずれの霊園でも「良い」「ほぼ良い」の合計が 90%を超えた (平岸霊園 94.8%、里塚霊園 90.2%、手稲平和霊園 95.2%)。



(1つだけ選択、無回答除く)

6) 特に良い点・悪い点 (問5 (6))

<平岸霊園>

行きやすさ・アクセス

- ・交通の便が良い (4)
- ・渋滞
- ・お盆期間はマイカー禁止となるので困る
- ・駐車場が狭い
- ・平岸高校の前の門をお盆やお彼岸の時期だけでも開けて欲しい
- ・管理事務所から墓まで送迎があれば助かる など

環境

- ・環境・景観が良い、静か (7)
- ・通路が歩きやすい
- ・スロープがない
- ・合葬墓の造りが粗末 など

清掃

- ・清掃が良い (8)
- ・ゴミすて場が少ない (2)
- ・草を捨てる場所があるのが大変便利
- ・水道の排水が悪い。清掃が悪い

使いやすさ

- ・土・日・祝日も業務を行ってほしい
- ・お坊さんがどこにいるか分かりづらい

その他

- ・カラス対策を考えてほしい
- ・管理事務所の職員が不親切
- ・地盤がしっかりしている所にある など

<里塚霊園>

行きやすさ・アクセス

- ・車以外で行きにくい・交通の便が悪い (6)
- ・自宅から近いので行きやすい (2)
- ・お盆は混雑する など

環境

- ・環境・景観が良い (6)
- ・通路が陥没している

清掃

- ・清掃・管理が行き届いている (12)
- ・トイレが汚い・少ない・暗い・古い (8)
- ・ゴミ箱を設置・増やしてほしい (4)
- ・排水口・側溝の清掃をしてほしい・詰まっている (2) など

使いやすさ

- ・水場が少ない・遠い (6)
- ・お墓の場所がわからない・わかりづらい (2)
- ・休憩場所がない
- ・水場の桶が不足 など

その他

- ・地盤が弱い・地震に弱い (2)
- ・市営なので安心
- ・管理料等が無料

<手稻平和霊園>**行きやすさ・アクセス**

- ・近い所に有り交通に便利だから良い

使いやすさ

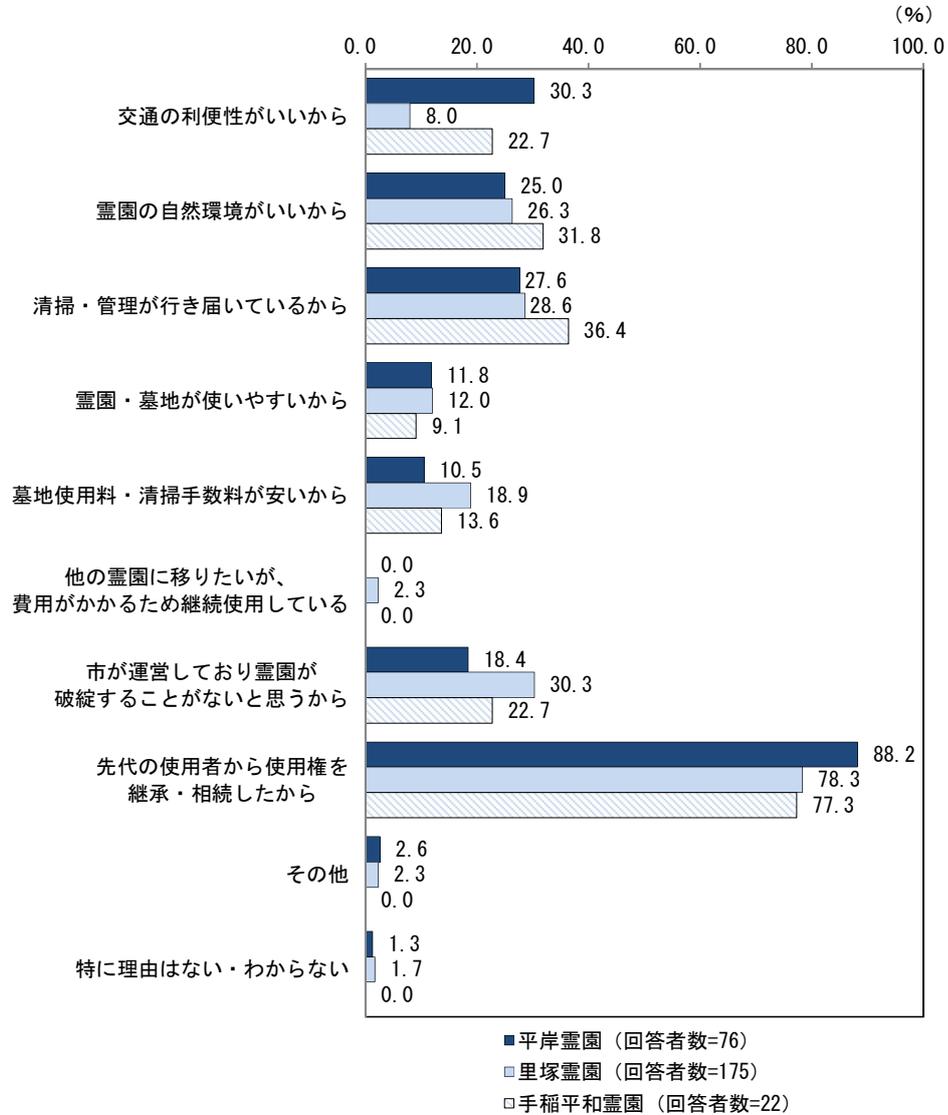
- ・桶と水があるのが良い

環境、清掃・管理

- ・環境が良く、清掃状況が良い

6) 市営霊園を使用している理由

いずれの霊園についても「先代の使用者から使用权を継承・相続したから、代々墓・家墓があるから」が最も多く挙げられた（平岸霊園 88.2%、里塚霊園 78.3%、手稲平和霊園 77.3%）。



その他

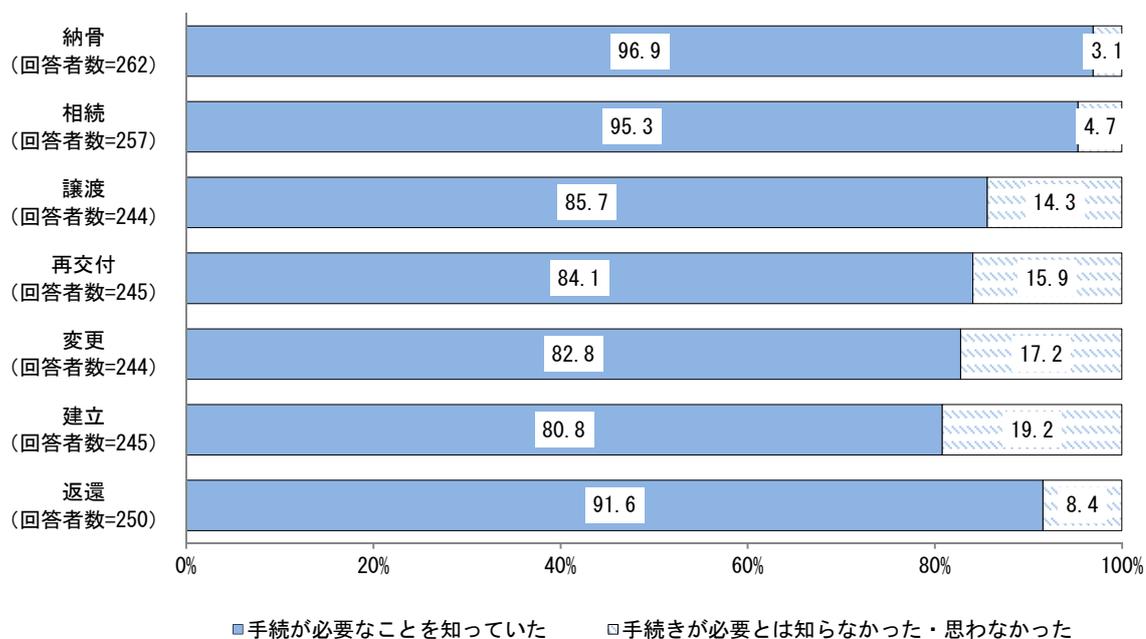
- ・家から近いから (2)
- ・豊平→里塚移転のため
- ・親が亡くなった時に買ったから
- ・常時、トイレが使える など

(複数選択可、無回答除く)

(4) 墓地に関する手続きの認知度

すべての事柄について「手続きが必要なことを知っていた」との回答が 80%を超えている。

各項目を比較すると、「建立」「変更」「再交付」「譲渡」については、10%以上の方が「手続きが必要とは知らなかった・思わなかった」と回答している。

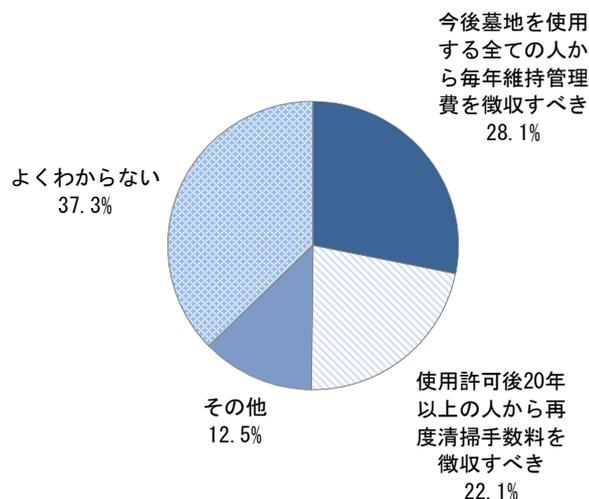


(1つだけ選択、無回答除く)

(5) 市営霊園の費用・サービス

1) 市営霊園の維持管理の財源をどう考えるか

「よくわからない」(37.3%)が最も多く挙げられた。次いで「現在、墓地を使用している人(ご自身)も含めて、今後墓地を使用する全ての人から毎年維持管理のための費用を徴収するようにするべき」が多く挙げられている(28.1%)



その他

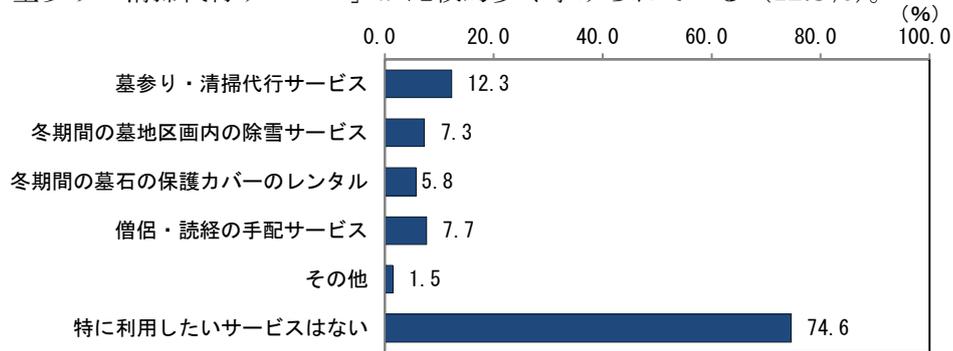
- ・これまで通り、市税・市の財源等でまかなうべき (9)
- ・積立金の運用状態、維持管理費用内訳など情報公開すべき (3)
- ・資金不足なら多少支払ってもよい (2)
- ・収入・年収により変動させる (2)
- ・清掃手数料の金額が高いと相続放棄・放置につながる (2)
- ・現状よりも使いやすく、きれいになるならば、多少の負担も仕方がない
- ・合葬墓に移す基準を下げ、霊園規模を縮小し、維持費も抑える
- ・市営であることから、再度の徴収時は料金を大きく下げるべきである
- ・徴収するなら公平にしてほしい。取れるところからのみ取るのは反対 など

(1つだけ選択、回答者数=263、無回答除く)

2) 市営霊園で利用したいサービス

「特に利用したいサービスはない」が最も多かった（74.6%）。

「墓参り・清掃代行サービス」が比較的多く挙げられている（12.3%）。



その他

- ・墓地内をまわる小型バス、タクシー
- ・管理事務所にスーパーにあるようなタクシー会社直結の電話をつける
- ・年寄のため椅子を置いてほしい（大通公園にあるような）
- ・ゴミ箱

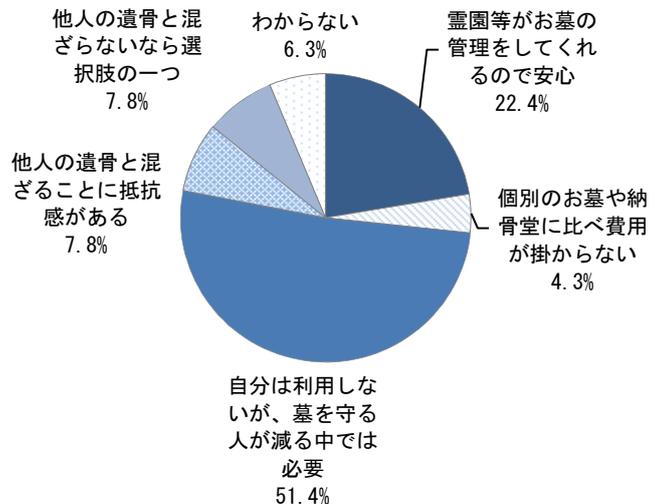
（複数選択可、回答者数=281）

(6) 墓の形態について

1) 合葬墓についてどのような印象を持っているか

「自分は利用しないと思うが、墓を守る人が減っていく中では必要な施設である」との回答が最も多かった（51.4%）。「霊園等がお墓の管理をしてくれるので安心である」（22.4%）が次ぐ。

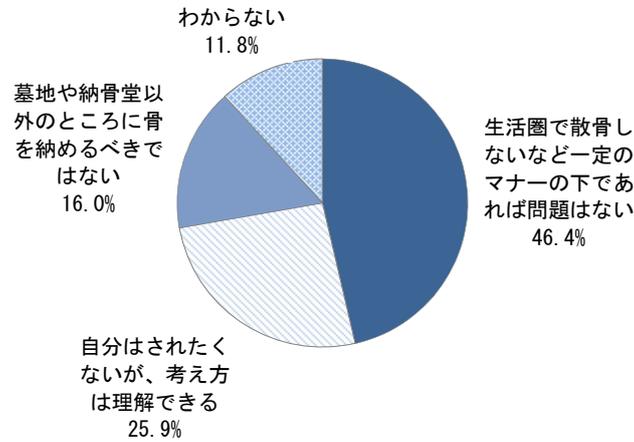
上記に「個別のお墓や納骨堂に比べ費用が掛からない」（4.3%）を加え、現状の合葬墓のあり方に肯定的な回答は計 78.1%であった。



（1つだけ選択、回答者数=255、無回答除く）

2) 散骨についてどう思うか

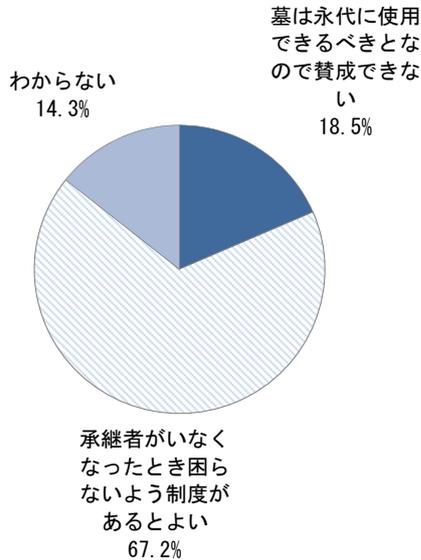
「生活圏で散骨しないなど一定のマナーの下であれば問題はない」が最も多く約半数が回答した（46.4%）。「自分はされたくないが、考え方は理解できる」（25.9%）が次ぐ。4人中3人が散骨を許容する結果となった。



(1つだけ選択、回答者数=263、無回答除く)

3) 一定期間後合葬墓に遺骨を移す「有期限」制度についてどう思うか

「墓の承継者がいなくなったときに困らないように、この制度があるとよい」を67.2%の人が挙げ、「墓は永代に使用できるべきと考えるので、この制度に賛成できない」は18.5%にとどまっている。



(1つだけ選択、回答者数=265、無回答除く)

第4章 終活に関するアンケート調査結果、自由記述意見

1. 調査の概要

・概要

「札幌市営斎場利用者向け調査」と「札幌市営墓地利用者向け調査」では終活に関する設問と、斎場・墓地のあり方に関する意見を聞く自由記述設問を、共通の設問として設けた。これらの設問について、両調査結果を合算して報告する。

- ・対象者 : 札幌市営斎場・霊園利用者アンケートを送付した市民 1,000 名
- ・回収数、率 : 回収数 505 票、回収率 50.5%

■以降の凡例・注記

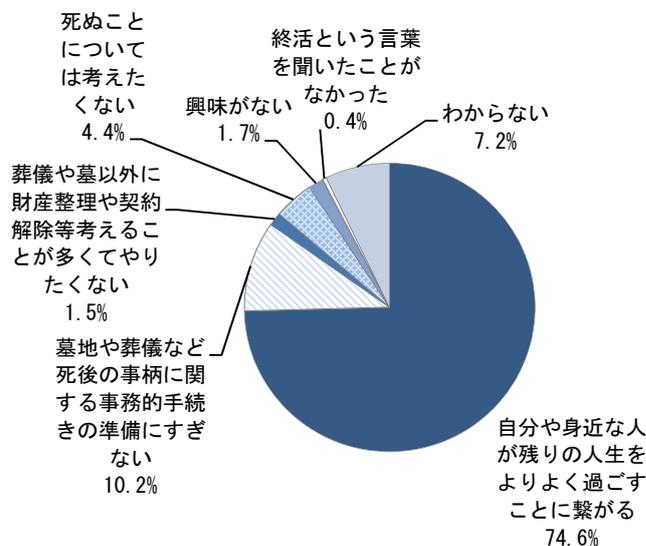
- ◎各図表で示す回答者数は、非該当者（その設問に答える必要のない方）、「無回答除く」の記載があるものについては無回答者を除いた数であるため、回収数以下になる。
- ◎単一回答の設問では、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- ◎複数選択可の設問では、表記の割合の合計は 100%を超える。

2. 調査結果

(1) 終活について

1) 終活にどのような印象を持っているか（斎場調査 問 15、霊園調査 問 13）

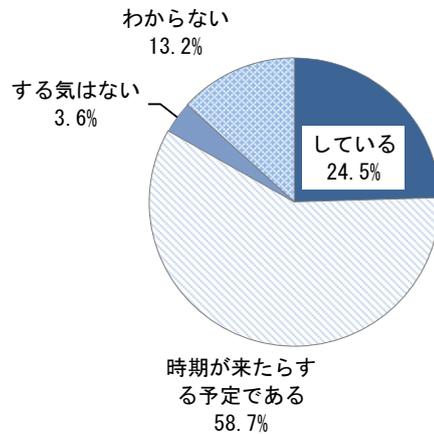
「自分や身近な人が残りの人生をよりよく過ごすことに繋がる」との回答が 74.6%と、4 人に 3 人が回答した。



(1 つだけ選択、回答者数=472、無回答除く)

2) 終活をしているか（斎場調査 問 16、霊園調査 問 14）

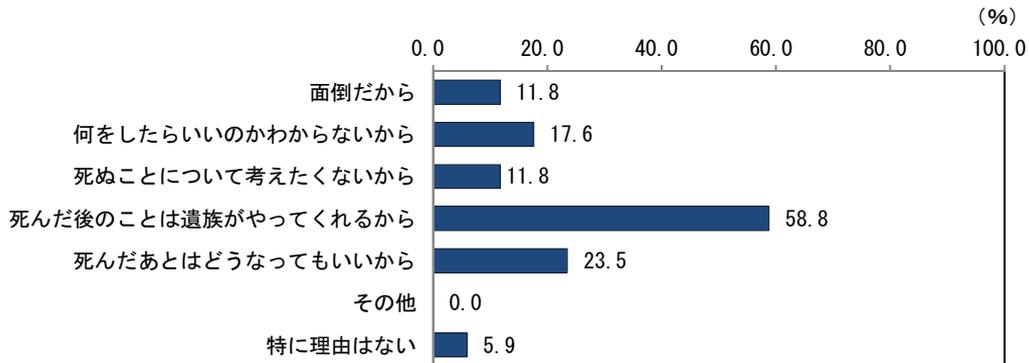
「している」(24.5%)、「時期が来たらする予定である」(58.7%)を合わせた83.2%の人が「している」「する予定である」と回答した。



(1つだけ選択、回答者数=477、無回答除く)

3) 終活をする気がない理由（終活をする気がない方限定、斎場調査 問 17、霊園調査 問 15）

「死んだ後のことは遺族がやってくれるから」を、終活をする気がない方の半数以上が挙げた(58.8%)。



(複数選択可、回答者数=17、無回答除く)

(2) 斎場・墓地のあり方についての自由記述意見（斎場調査 問 19、霊園調査 問 17）

計 103 名の方からご意見をいただき、比較的多かったご意見を下記のように整理した。
それぞれについて代表的なご意見を紹介する。

種類	件数
斎場に関する意見	35
1) 斎場に対する感謝の声	7
2) 斎場の施設・設備について	6
3) 火葬料金について	6
4) 対応・所要時間等について	5
5) 斎場の増設について	4
6) 友引の対応について	3
斎場・その他	4
墓地に関する意見	64
1) 合葬墓について	11
2) 墓地へのアクセスについて	8
3) 胆振東部地震への対応等	7
4) 墓じまいについて	5
5) 市営霊園の増設	5
6) 無縁墓等への対応	5
7) 墓地に関する感謝の声	5
8) 墓地のあり方について	3
墓地・その他	15
その他	10
樹木葬・散骨について	4
その他	6

<斎場に関する意見>

1) 斎場に対する感謝の声

- ・ 山口斎場の施設のすばらしさと、皆様の仕事に対する姿勢には感心した。(60代女性)
- ・ (山口斎場) 設備全体に満足した。特に食堂のそばが美味だった。(60代男性)
- ・ (里塚斎場) 施設も清潔で、館内のフリースペースも広く、ゆったりと過ごせた。(60代男性)

2) 斎場の施設・設備について

- ・ 明るくて、広い喫茶店兼休息場をもっと増やしてほしい。待つ間、子供達が遊べる部屋をつくってほしい。(70代以上女性)
- ・ 里塚霊園火葬場の食事施設を充実させてほしい。喫茶店が混んでいて食事に時間がかかる。親族人数が少なく、個室をとる程でもないケースが多いはず。オープンスペースで、親族が穏やかに時間を過ごし、食事をスムーズにストレスなくとれるように改善してほしい。(60代女性)
- ・ 控室に座布団はあったが、婦人用に毛布等、畳の場所で使える物があるといい。(60代男性)

3) 火葬料金について

- ・ 死は誰にでも訪れ、火葬は法で決まっている。札幌市が無料にしているのは大変大切な事だと思っている。(50代男性)
- ・ 高齢化に伴い亡くなる方も多くなるので、料金をとり、安全かつきれいに火葬場を運営していただきたい。(40代女性)
- ・ 火葬費用有料化についての議論は、少子高齢化による若年層への負担や低所得者層に対

する負担も考慮し、慎重に検討すべきである。(60代男性)

4) 対応・所要時間等について

- ・(里塚斎場) 利用する時間によるのだろうが、待ち時間の短縮が望まれる。(70代以上男性)
- ・火葬した骨を火葬場で処分してほしい人もいるはず。(70代以上女性)

5) 斎場の増設について

- ・両斎場とも遠すぎる。公害対策と思うが、もう少し増やした方がいい。(50代男性)

6) 友引の対応について

- ・これからどんどん亡くなる人が多くなるので、友引の日も火葬場はオープンしていたほうがいい。友引とか気にする人は少なくなっていると思う。(50代男性)
- ・友引の対応は自分達だけでは決められない。まわりの人の感情があり、結婚式とは違う。家族のみ、無縁の人なら良いかも。(50代男性)

<墓地に関する意見>

1) 合葬墓について

- ・公営の墓地が不足していると思うが、従来の形態が良いとも思われない。共同の合葬墓も今後、必要であると思う。(60代男性)
- ・相続人がいない場合、生前に合同墓に入る契約ができるといい。(60代女性)
- ・市営霊園は、これから合同墓にしていくべきだと思う。(60代女性)
- ・共同墓地をもっと増やしてほしい。(60代女性)

2) 墓地へのアクセスについて

- ・里塚だが、環境は申し分ないが、あまりに市内から遠すぎ不便。バスで行くには高齢者には辛い。(60代女性)
- ・(里塚霊園) もっと交通の便を良くしてほしい。車はもう運転ができないので。(70代以上男性)
- ・平岸霊園の入口が1ヶ所しかなく、地下鉄近くの渋滞が激しくいつも墓参りに苦労している。(60代男性)

3) 胆振東部地震への対応等

- ・地震で墓の修理が必要になったので事務所に問い合わせしたところ、「個々で対応とのこと」だった。今回のように規模・数が多い場合は事務所であっせんなどしてほしい。(60代男性)
- ・今回の地震で里塚の墓が壊れた。補修経費の一部でも補てんしてもらえないものか。(60代男性)

4) 墓じまいについて

- ・墓じまいについて知りたい。(年代不明男性)
- ・墓を整理して、合葬墓にしたいと思っているが考え中である。(70代以上女性)

5) 市営霊園の増設

- ・里塚墓地をもっと広く開発し、今後、墓を建てられるようにしてほしい。(60代男性)
- ・市営の墓地に問い合わせをしたが、待っている人が多いため諦めた。墓地の場所を増やしてほしい。年収のない人にとってはきびしい。(60代女性)

6) 無縁墓等への対応

- ・墓を守る人が最終的にいなくなることを予想して政策を考えるべき。(60代男性)
- ・無縁墓の処理がスムーズに進むシステムが必要。(40代男性)

7) 墓地に関する感謝の声

- ・(里塚霊園) 良く手入れが行き届いていて満足している。ありがとうございます。(70代以上女性)

8) 墓地のあり方について

- ・管理に予算がかかりすぎているとしたら、少し墓地の持主のお力を借りて、清掃協力日を設けるなど所有者の意識変化を期待する取組をしてもよいと考える。(70代以上男性)

<その他>

樹木葬・散骨について

- ・墓石のいない樹木葬などがあれば良いと思う。(60代女性)
- ・墓地はいらないと思っているので樹木葬、散骨など、もっと安くなれば良いと思っている。散骨出来る場所等、よくわからないので、そういう案内があれば良いと思う。(50代女性)

札幌市営斎場ご利用者向けアンケート調査票

日頃から札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、この度の北海道胆振東部地震により、被害に遭われた方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

札幌市では、少子高齢化の進展に伴う火葬件数の増加や墓地需要の変化を見据え、将来にわたる斎場（火葬場）や墓地の安定的な運営体制を確保するため、斎場や墓地の目指すべき姿と、その実現に向けた取組を検討し「(仮称)札幌市斎場・墓地運営体制基本構想」として取りまとめる予定です。

この調査は、基本構想の検討に必要な札幌市営斎場のあり方を探るため、市営斎場を利用された市民の方を対象として行うものです。

突然のお願いで恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解くださり、ご協力・ご回答くださいますようお願い申し上げます。

ご回答にあたって

- 送付封筒の宛名に記載させていただいた方がご回答くださいますようお願いいたします。
- ご回答は、選択肢の場合はあてはまる番号に○（マル）をつけてください。一部、(括弧内)や 記入枠内 に数値や具体的な内容を記入いただく設問もあります。
- ご記入後のアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、無記名のまま **平成 30 年 11 月 16 日（金）までに投函、または下記まで FAX してください。**

プライバシーの保護について

- このアンケートは、平成 29 年に札幌市営斎場を利用された市民の方、500 名様を無作為抽出で選び、お送りしています。
- ご回答内容は統計的に処理し、個人を特定できない資料として公表させていただきます。
- アンケートの発送・回収・集計は、札幌市と個人情報等に関する守秘義務条項を含む契約を締結した（株）ノーザンクロスが行います。

アンケートに関するお問合せ先

- 調査業務受託者：株式会社ノーザンクロス（担当：井上、島崎）

TEL：011-232-3661（※受付時間：平日 9:00～18:00）

FAX：011-232-4918

- 調査実施者：札幌市保健福祉局保健所生活環境課（担当：佐藤、藤本）

直近の札幌市内の斎場のご利用状況・評価等についてお聞きします。

問1 あなたが直近で利用された札幌市内の斎場は次のうちどれですか。(○は1つだけ)
1. 里塚斎場 2. 山口斎場

問2 あなたが利用された時期は何月ですか。
()月

問3 あなたが斎場に到着された時刻をお答えください。
()時頃

問4 斎場到着から受付まで(下図①)の待ち時間について、どのように感じましたか。
(○は1つだけ)。

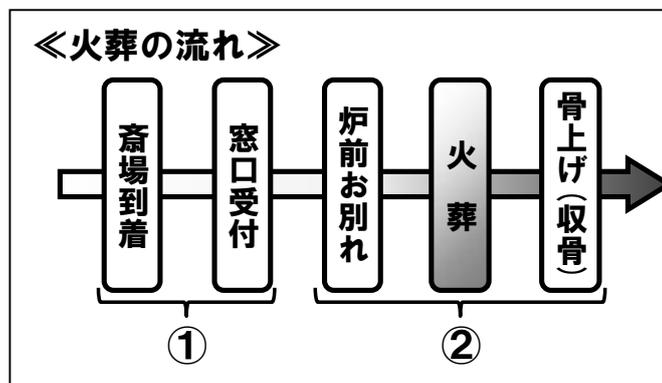
現在、札幌市の斎場では現地での受付順に火葬を行っており、混雑時には受付するまでお待ちいただくことがあります。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 短いと感じた | 2. やや短いと感じた |
| 3. 短いとも長いとも感じなかった | 4. やや長いと感じた |
| 5. 長いと感じた | 6. 覚えていない |

問5 炉前のお別れから骨上げ(収骨)まで(下図②)の待ち時間について、どのように感じましたか。(○は1つだけ)

火葬するご遺体の身長や体重にもよりますが、ご遺体を火葬して、骨上げ(収骨)の準備が整うまではおおむね90分かかります。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 短いと感じた | 2. やや短いと感じた |
| 3. 短いとも長いとも感じなかった | 4. やや長いと感じた |
| 5. 長いと感じた | 6. 覚えていない |



問8 あなたが直近で利用された札幌市内の斎場の評価をお答えください（○はいずれも1つだけ）。また、特に良かった点、悪かった点があれば具体的にお答えください。

(1) 斎場への行きやすさ

1. 行きやすかった
2. ほぼ行きやすかった
3. どちらとも言えない
4. やや行きにくかった
5. 行きにくかった

(2) 施設等の清潔さ

1. 清潔だった
2. ほぼ清潔だった
3. どちらとも言えない
4. やや清潔ではなかった
5. 清潔ではなかった

(3) 施設の使いやすさ

1. 使いやすかった
2. ほぼ使いやすかった
3. どちらとも言えない
4. やや使いにくかった
5. 使いにくかった

(4) 全体の所要時間

1. 長いと感じなかった
2. あまり長いと感じなかった
3. どちらとも言えない
4. やや長いと感じた
5. 長いと感じた

(5) 施設内の混雑度

1. 混んでいなかった
2. ほぼ混んでいなかった
3. どちらとも言えない
4. やや混んでいた
5. 混んでいた

(6) 職員の対応

1. 良かった
2. ほぼ良かった
3. どちらとも言えない
4. あまり良くなかった
5. 良くなかった

(7) 総合的な満足度

1. 良かった
2. ほぼ良かった
3. どちらとも言えない
4. やや悪かった
5. 悪かった



(8) 特に良かった点、悪かった点：

問9 現在、火葬後のご遺骨をどのようにされていますか。(○はいずれも1つだけ)

(1) ご遺骨の埋葬等の方法

1. 元々ある代々墓に納めた
2. 元々ある納骨堂に納めた
3. 新たに墓を建てて納めた
4. 新たに納骨堂を借りて納めた
5. 合葬・合祀式の墓地や納骨堂に埋葬
6. 樹木葬
7. 散骨
8. 自宅供養
9. その他 ()

(2) 埋葬場所

1. 市内
2. 市外・道内 () 市・町・村
3. 道外

(3) 墓地・納骨堂等の名称

※差し支えなければお答えください。

斎場の費用負担についてお聞きします。

問10 斎場の費用負担についてお答えください。

(1) 札幌市の斎場では、お一人を火葬するのにおよそ49,000円の経費がかかっていますが、現在、札幌市民は無料としています。あなたはこの無料としていることについてどう思いますか。

1. 妥当だと思う
2. どちらとも言えない
3. 妥当だと思えない

(2) 火葬場の運営や修繕には、以下のように多くの費用が必要です。

①施設の運営費用

火葬場の収入(特別控室の使用料、市民以外の方の火葬費用等)だけでは足りないため、平成28年度は札幌市の税金が約6.5億円かかっています。

②修繕等

今後の施設の建て替えや設備の修繕の検討が必要です。(里塚斎場は平成19～20年に修繕工事を行っており、約22.4億円の費用がかかりました。)

このような背景から、火葬費用の有料化で費用を確保する方法も考えられますが、あなたはどのくらいまでなら負担してもよいと思いますか。なお、政令指定都市における市民の火葬料金の平均は約10,500円です。(○は1つだけ)

1. 10,000円未満
2. 10,000～20,000円未満
3. 20,000～30,000円未満
4. 30,000～40,000円未満
5. 40,000～49,000円未満
6. 経費分全額(49,000円)
7. 無料のままがよい
8. その他 ()
9. わからない

終活についてお聞きします。

これまで、一般的には存命のうちにご自身や身近な人の葬儀や墓のことについて考えたり、準備をしたりすることは、積極的に行われてきませんでした。近年、「終活※」として、生前から自分の人生の最期のことを考える人が増えています。

※終活：葬儀や墓、財産整理等、人生の最期を自分の望むように自分で準備すること。

問 15 あなたは終活について、どのような印象をお持ちですか。最も近いものをお答えください。(○は1つだけ)

1. 自分や身近な人が残りの人生をよりよく過ごすことに繋がる
2. 単に、墓地や葬儀など死後の事柄に関する事務的手続きの準備にすぎない
3. 葬儀や墓以外に財産整理や契約解除等考えることが多くてやりたくない
4. 死ぬことについては考えたくない
5. 興味がない
6. 終活という言葉聞いたことがなかった
7. わからない

問 16 あなたは終活をしていますか。(○は1つだけ)

1. している
2. 時期が来たらする予定である
3. する気はない → **問 17** へ
4. わからない

問 17 **問 16** で「3. する気はない」と答えた方にお聞きします。終活をする気がない理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 面倒だから
2. 何をしたらいいのかわからないから
3. 死ぬことについて考えたくないから
4. 死んだ後のことは遺族がやってくれるから
5. 死んだあとはどうなってもいいから
6. その他 ()
7. 特に理由はない

札幌市営霊園ご利用者向けアンケート調査票

日頃から札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、この度の北海道胆振東部地震により、被害に遭われた方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

札幌市では、少子高齢化の進展に伴う火葬件数の増加や墓地需要の変化を見据え、将来にわたる斎場（火葬場）や墓地の安定的な運営体制を確保するため、斎場や墓地の目指すべき姿と、その実現に向けた取組を検討し「(仮称)札幌市斎場・墓地運営体制基本構想」として取りまとめる予定です。

この調査は、基本構想の検討に必要な札幌市営霊園のあり方を探るため、市営霊園を使用されている市民の方を対象として行うものです。

突然のお願いで恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解くださり、ご協力・ご回答くださいますようお願い申し上げます。

ご回答にあたって

- 送付封筒の宛名に記載させていただいた方（墓地の使用権者）がご回答ください。もし墓地の使用権者がお亡くなりになっている等の場合には、ご親族の方がご回答いただくとともに、相続の手続きをお願いいたします。
- ご回答は、選択肢の場合はあてはまる番号に○（マル）をつけてください。一部、（括弧内）や 記入枠内 に数値や具体的な内容を記入いただく設問もあります。
- ご記入後のアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、無記名のまま **平成30年11月16日（金）までに投函、または下記までFAXしてください。**

プライバシーの保護について

- このアンケートは、平成30年10月25日現在、札幌市営霊園を使用されている市民の方（墓地の使用権者）、500名様を無作為抽出で選び、お送りしています。
- ご回答内容は統計的に処理し、個人を特定できない資料として公表させていただきます。
- アンケートの発送・回収・集計は、札幌市と個人情報等に関する守秘義務条項を含む契約を締結した（株）ノーザンクロスが行います。

アンケートに関するお問合せ先

- 調査業務受託者：株式会社ノーザンクロス（担当：井上、島崎）

TEL：011-232-3661（※受付時間：平日9:00～18:00）

FAX：011-232-4918

- 調査実施者：札幌市保健福祉局保健所生活環境課（担当：佐藤、藤本）

問5 問1で回答いただいた市営霊園の評価をお答えください（いずれも○は1つだけ）。

また、特に良かった点、悪かった点があれば具体的にお答えください。

(1) 霊園への行きやすさ

1. 行きやすい 2. ほぼ行きやすい 3. どちらとも言えない 4. やや行きにくい 5. 行きにくい

--	--	--	--	--

(2) 霊園の環境

1. 良い 2. ほぼ良い 3. どちらとも言えない 4. やや良くない 5. 良くない

--	--	--	--	--

(3) 霊園の清掃状況

1. 良い 2. ほぼ良い 3. どちらとも言えない 4. やや良くない 5. 良くない

--	--	--	--	--

(4) 霊園の使いやすさ

1. 使いやすい 2. ほぼ使いやすい 3. どちらとも言えない 4. やや使いにくい 5. 使いにくい

--	--	--	--	--

(5) 総合的な満足度

1. 良い 2. ほぼ良い 3. どちらとも言えない 4. やや悪い 5. 悪い

--	--	--	--	--



(6) 特に良い点、悪い点：

--

問6 あなたが市営霊園を使用されている理由をお答えください。（○はいくつでも）

1. 交通の利便性がいいから
2. 霊園の自然環境がいいから
3. 清掃・管理が行き届いているから
4. 霊園・墓地が使いやすいから
5. 墓地使用料・清掃手数料が安いから
6. 他の霊園に移りたいが、費用がかかるため継続使用している
7. 市が運営しており霊園が破綻することがないと思うから
8. 先代の使用者から使用权を継承・相続したから、代々墓・家墓があるから
9. その他（ ）
10. 特に理由はない・わからない

墓地に関する手続きの認知度についてお聞きします。

市営霊園について以下に該当する場合は、手続きが必要です。

- ①納骨（市営霊園に納骨する時）
- ②相続（使用権者が死亡し、墓地の使用権を相続する時）
- ③譲渡（使用権者の生存中に名義変更する時）
- ④再交付（墓地使用許可証を紛失した時）
- ⑤変更（墓地使用者の住所・本籍・氏名が変わった時）
- ⑥建立（墓碑・墓標を建立又は改築する時）
- ⑦返還（墓地が不要となり返還する時）

※これらの手続きは札幌市保健所、または各霊園管理事務所にて行うことができます（ただし、手稲平和霊園管理事務所では、手数料の必要な手続きは受け付けておりません）。

問7 あなたは上記の市営霊園の使用等に関する手続きの必要性について、ご存知でしたか。（いずれも○は1つだけ）

	手続きが必要なことを知っていた	手続きが必要とは知らなかった・思わなかった
①納骨（市営霊園に納骨する時）	1	2
②相続（使用権者が死亡し、墓地の使用権を相続する時）	1	2
③譲渡（使用権者の生存中に名義変更する時）	1	2
④再交付（墓地使用許可証を紛失した時）	1	2
⑤変更（墓地使用者の住所・本籍・氏名が変わった時）	1	2
⑥建立（墓碑・墓標を建立又は改築する時）	1	2
⑦返還（墓地が不要となり返還する時）	1	2

市営霊園の使用に係る費用、サービスについてお聞きします。

札幌市営霊園では、墓地使用許可時に墓地使用料と共用部分の清掃手数料（20年分）をお支払いいただき、これらを積み立てた運用益にて維持管理を行ってきました。

しかし、霊園の老朽化に伴い、将来は維持管理のための資金が不足し、新たな財源の確保を検討しなければならない状況です。

問8 上記を踏まえ、あなたは市営霊園の維持管理に関する財源について、どのように考えますか。最もあなたの考えに近いものをお答えください。（○は1つだけ）

1. 現在、墓地を使用している人（ご自身）も含めて、今後墓地を使用する全ての人から毎年維持管理のための費用を徴収するようにすべき
2. 使用許可を受けてから20年以上経過している人から、再度清掃手数料を徴収すべき
3. その他（ ）
4. よくわからない

問9 下記の中で市営霊園にてあれば、あなたが利用してみたいサービスはありますか。有料であることを想定してお答えください。（○はいくつでも）

（※下記のサービスは、現在市営霊園では行っていません）

1. 墓参り・清掃代行サービス
2. 冬期間の墓地区画内の除雪サービス
3. 冬期間の墓石の保護カバーのレンタル
4. 僧侶・読経の手配サービス
5. その他（ ）
6. 特に利用したいサービスはない

墓の形態についてお聞きします。

問 10 あなたは家族単位ではなく他の人とも共同で利用する合葬墓について、どのような印象をお持ちですか。最もお考えに近いものをお答えください。(○は1つだけ)

1. 霊園等がお墓の管理をしてくれるので安心である
2. 個別のお墓や納骨堂に比べ費用が掛からない
3. 自分は利用しないと思うが、墓を守る人が減っていく中では必要な施設である
4. 他人の遺骨と混ざることには抵抗感がある
5. 他人の遺骨と混ざらない形であれば選択肢の一つになる
6. わからない

問 11 あなたは遺骨を粉末状にして海などに撒く散骨について、どう思いますか。最もお考えに近いものをお答えください。(○は1つだけ)

1. 生活圏で散骨しないなど一定のマナーの下であれば問題はない
2. 自分はされたくないが、考え方は理解できる
3. 墓地や納骨堂以外のところに骨を納めるべきではない
4. わからない

問 12 墓地の使用について一定の期間経過後、問 10 で示した合葬墓に遺骨を移す「有期限」という制度についてどう思いますか。最もお考えに近いものをお答えください。(○は1つだけ)

1. 墓は永代に使用できるべきと考えるので、この制度に賛成できない
2. 墓の承継者がいなくなったときに困らないように、この制度があるとよい
3. わからない

終活についてお聞きします。

これまで、一般的に存命のうちにご自身や身近な人の葬儀や墓のことについて考えたり、準備をしたりすることは、積極的に行われてきませんでした。近年、「終活^{*}」として、生前から自分の人生の最期のことを考える人が増えています。

※終活：葬儀や墓、財産整理等、人生の最期を自分の望むように自分で準備すること。

問 13 あなたは終活について、どのような印象をお持ちですか。最も近いものをお答えください。(○は1つだけ)

1. 自分や身近な人が残りの人生をよりよく過ごすことに繋がる
2. 単に、墓地や葬儀など死後の事柄に関する事務的手続きの準備にすぎない
3. 葬儀や墓以外に財産整理や契約解除等考えることが多くてやりたくない
4. 死ぬことについては考えたくない
5. 興味がない
6. 終活という言葉聞いたことがなかった
7. わからない

問 14 あなたは終活をしていますか。(○は1つだけ)

1. している
2. 時期が来たらする予定である
3. する気はない → **問 15** へ
4. わからない

問 15 問 14 で「3. する気はない」と答えた方にお聞きします。終活をする気がない理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 面倒だから
2. 何をしたらいいのかわからないから
3. 死ぬことについて考えたくないから
4. 死んだ後のことは遺族がやってくれるから
5. 死んだあとはどうなってもいいから
6. その他 ()
7. 特に理由はない

ご回答者についてお聞きします。

問 16 あなたご自身のことについてお答えください。(いずれも○は1つだけ)

(1)性別	1. 男性 2. 女性
(2)年齢	1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代以上
(3)居住区	1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区 6. 豊平区 7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区 11. 市外 (市・町・村)
(4)世帯構成	1. 一人暮らし 2. 自身と配偶者(夫婦のみ) 3. 自身と配偶者と子ども(夫婦と子) 4. 自身と子ども 5. 自身と親(親と同居) 6. 自身と配偶者と親(夫婦が親と同居) 7. 三世帯同居 8. その他 ()
(5)世帯年収	1. 200万円未満 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1,000万円以上

問 17 最後に、札幌市内の火葬場・墓地のあり方についてご意見がありましたらお寄せください。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入後の調査票は、11月16日(金)までに返信用封筒に入れて投函してください。
またはFAXにてご返信ください。(FAX: 011-232-4918)